

scp財団 駒王町派出所 元Cクラス職員の手記

重言 白

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

こういう版權キャラをSCPっぽく書いてみたかっただけ。

作者がそこまでSCP財団に詳しくないのでクオリティはお察し。

作者が国語の点数は赤点ギリギリだったので文法すら怪しいので、指摘してもらえるとありがたいです。

尊敬語？謙讓語？知らんなそんなもの。

著作権的なものがあるという指摘を受けたため追記。

書き方が正しいかがわからないので、場合によっては運営から削除指示が出る可能性

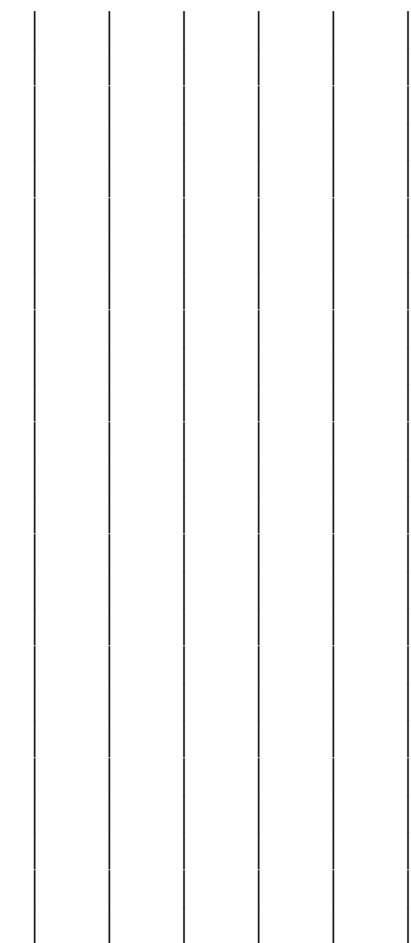
コレはチキンレース始まったかも？

追記忘れを見つけた場合、教えてくれるとありがたい。

目次

著作権的なもの（クレジット?）及び設定集	1
ここからが本編です	
任務開始前	9
1（原作開始前）	12
2（原作開始済）	16
3	20
4	25
5	29
6	35
7	40
8	44
9	48
10	53
11	57
12	61
13	65
14	69
15	74
16	79
17	83
18（収容違反後）	87
18.5	92
19	95

2 2 2 2 2 2
5 4 3 2 1 0



119 115 112 108 104 99

著作権的なもの（クレジット？） 及び設定集

使用させていただいたSCP

SCP—835—JP 「ゼノフォビア消照闇子」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-835>

—jp

SCP—710—JP—J 「財団神拳」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-710>

—jp—j

SCP—043—JP 「なんでも食べられる調味料」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-043>

—jp

SCP—299—JP 「核男頭」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-299>

—jp

SCP—682 「不死身の爬虫類」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-682>

SCP—014—JP—J 「『奈落の悪鬼、漆黒の翼アイスバイ

ン』

<http://ja.scp-wiki.net/scp-014>

—jp—j

SCP—8900—EX 「青い、青い空」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-8900>

0—ex

SCP—504 「批判的なトマト」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-504>

SCP—978 「欲望カメラ」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-978>

SCP—963 「不死の首飾り」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-963>

SCP—076 「“アベル”」

<http://ja.scp-wiki.net/scp-076>
 SCP-073 「〃カイン〃」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-073>
 SCP-2207 「時空切断ナイフ」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-2207>
 SCP-500 「万能薬」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-500>
 SCP-1048 「ビルダー・ベア」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-1048>
 SCP-2295 「パッチワークのハートがあるクマ」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-2295>
 SCP-040-JP 「ねこですよろしくおねがいします」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-040>
 SCP-173 「彫刻—オリジナル」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-173>
 SCP-035 「取り憑くマスク」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-035>
 SCP-106 「オールドマン」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-106>
 SCP-572 「パツと見無敵のカタナ」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-572>
 SCP-743 「チョコレート・ファウンテン」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-743>
 SCP-096 「シャイガイ」
<http://ja.scp-wiki.net/scp-096>

<http://ja.scp-wiki.net/scp-096>
増えるたびに追記する予定。

ここから先は設定集だ。

つまり意図せぬネタバレの可能性が高い。

それでも見るのか？

良いんだな？

元Cクラスさん（仮）

元Cクラス研究員であり、財団神拳習得者。

殺傷能力よりも隠密行動に特化した財団神拳を習得しており、時間差共振爆砕脚や空中戦闘に適した二重反作用空歩術、摩擦熱切断手刀は使用できません。

本部より報告さん（仮）

この任務に従事するにあたり

- ・ 任務終了後に記憶処理を受けること
- ・ 一般職員から隔離され、24時間体制で監視を受けること

・?日に一度、精神鑑定を受けること

など様々な制約に同意することを条件に、クリアランス4全てとクリアランス5を必要とする一部のSCPの情報を読覧する権限が与えられています。

あー、あと200文字ちよい埋めないと投稿できないため適当に埋めます。

ここから先は見るとよ!

ブラウザバックだぞ!

絶対だぞ!

戻ったか?

この資料の閲覧には、セキュリティクリアランス4以上の職員の許可が必要です。

アイテム番号:SCP-500-DD

オブジェクトクラス:Keter

これは全世界に生息している「神話」に登場するオブジェクト全てを指すものです。

このSCPに含まれるオブジェクトはあまりに多いため、SCP-076やSCP-073のように一部のオブジェクトは独立して管理されています。

—1、聖書

—2、民間伝承

—3、中国神話

—4、北欧神話

—D、ドラゴン

1000字を超えたため終わろうと思います。

《transparent》実は全てカバーストーリーです。《transparent》

《transparent》という正直「ないわー」という設定にするかどうかで悩んでいるため、正確な情報はありません《transparent》

ここから先はセキュリティクリアランス5以上。

《transparent》アイテム番号：SCP—500—DD—J《transparent》

《transparent》オブジェクトクラス：KeterEuc lid《transparent》

《transparent》特別収容プロトコル：SCP—500—DD—Jは発生し次第、?名以上のDクラス職員と?名のエージェントを派遣して情報を集めて下さい。《transparent》

《transparent》その情報を元に“原作”を特定し、エージェントに“原作”の主人公などの特定の人物、もしくは“原作”開始のきっかけとなるオブジェクトを終了するように指示を出して下さい。《transparent》

《transparent》説明：SCP—500—DD—Jはランダムな?km ???kmを範囲として発生する現実改変現象です。

《transparent》
《transparent》現実世界に近いなんらかの創作物を“原作”として発生し、その登場人物や町並み、現象などを現実改変により実現します。《transparent》

《transparent》SCP—500—DD—Jによる現実改変が行われるタイミングは3種類のみです。《transparent》

《transparent》1つ目はSCP—500—DD—Jの発生時です。《transparent》

《transparent》この時、効果範囲内の物は全て“原作”と同様に改変されます。《transparent》
《transparent》2つ目はSCP-500-DD-Jが自然消滅する時です。《transparent》
《transparent》SCP-500-DD-Jは“原作”が終了するまでしか存在しません。《transparent》
《transparent》そのため、“原作”を完走することによりSCP-500-DD-Jは自然消滅します。《transparent》
《transparent》しかし、自然消滅する際にSCP-500-DD-Jによる現実改変現象の効果範囲は地球全体に広がります。《transparent》
《transparent》例を挙げるならば、“新世紀エヴァ????”が“原作”としてSCP-500-DD-Jが発生して自然消滅した[?]場合、人類は2名を残して絶滅します。《transparent》
《transparent》このため元々はオブジェクトクラス：Keterに分類されていました。《transparent》
《transparent》3つ目はSCP-500-DD-Jの内部に“原作”を知る人間が侵入した時です。《transparent》
《transparent》SCP-500-DD-Jの“原作”を“創作物”として認識している人間が内部に侵入した場合、その知識量に応じた現実改変現象が発生します。《transparent》
《transparent》タイトルを知っているだけならば、倫理観、思考能力の一部、記憶の一部のどれか1つが失われ、代わりになんらかの異常性を与えられます。《transparent》
《transparent》代わりに与えられる異常性は、主に“原作”に関する物か、人間が持つ一般的な機能を強化した物が多いです。《transparent》
《transparent》あらすじや登場人物まで知っているのな

ら、上記のいずれか1つ、もしくは複数が失われ、欠損を埋めるための何かと異常性が与えられます。《transparent》

《transparent》とあるDクラス職員による実験の結果では、元々の家族の記憶を失い、自分が産まれてすぐに両親は死んだという記憶が与えられていました。《transparent》

《transparent》「原作」を閲覧した事のある場合では、上記の他、人間性、記憶の大半、本能の1部から複数を失います。《transparent》

《transparent》代わりに欠損を埋めるための何かと複数の何らかの異常性を与えられます。《transparent》

《transparent》「原作」を全て読了していた場合、精神的肉体的関わらず、所有するあらゆる物から複数の何かが失われ、代わりに失った物の量だけの何かを与えられます。《transparent》

《transparent》今作における「青年A」はコレに分類されます。《transparent》

《transparent》具体的には、「原作知識」を除く全てを剥奪された結果、原作通りに物事を運ぼうとする人格と神器を召喚して使用する能力などが与えられました。《transparent》

《transparent》そして3つ目の現実改変現象を受けた全員が、自らを「創作物に紛れ込んだ人間」という認識を持ちます。《transparent》

《transparent》SCP—500—DD—JのオブジェクトクラスがKeterからEuclidに下がったのは、とあるDクラス職員が任務内容などを忘却した結果、主人公などの登場人物を全員「編集済」してしまった際、SCP—500—DD—Jの現実改変現象による影響が一切ないまま消滅したという事案があったからです。《transparent》

《transparent》この事案の後、何度か実験を繰り返した結果、「原作」開始時に主人公が存在しない場合、もしくは主人公が異常現象に関わるきっかけが発生しなければ、SCP—500—DD—

Jは自己矛盾を引き起こして消滅するということが判明しました。

《／transparent》

《transparent》つまり、“原作”開始までにSCP-500—DD—J内に侵入して？名程度を終了すれば無効化することが可能であり、そしてそれは？名もエージェントを送り込めば容易に完了できます。《／transparent》

《transparent》今回の場合、紛れ込んでしまった一般人が“青年A”になり、一誠を終了しても蘇生、もしくはは任務中に返り討ちにあつたために一誠が生きたまま原作開始を迎えました。《／transparent》

ここからが本編です

任務開始前

○月△日 晴れ

上司から突然の異動通達を受けた。

異動先は日本の駒王町という小さな町で、そこに住むSCPの観察・報告が私の新しい任務だそうだ。

全く……こんなSCPと接触する怖れのある最前線の業務は本来、Dクラス職員が担当するものだろうに。

近頃各国で行われている、死刑制度の撤廃の弊害なのだろうか？

まあ、所詮Cクラス職員の私に拒否権はない。

さつさと仕事を片付けて、ようやく入手した835ゲームズの最新作をプレイしよう。

詳しい仕事内容は後で書く。

任務対象

アイテム番号：SCP—500—DD

オブジェクトクラス：Keter

特別收容プロトコル：その性質上、全てのSCP—500—DDを完全に收容することは不可能です。

收容エリア “神話世界” に收容されている個体はオブジェクトクラス：Euclidと同様の扱いとなり、監視以外の管理は不要です。

SCP財団に報告のない收容違反の発生が確認された場合、対象個体の種族に対応した装備を支給されたDクラス職員により早急に終了することが推奨されています。

この場合、対象個体に対してオブジェクトクラスが個別で設定・更新されるため、確認を怠らないことが推奨されています。

説明：SCP—500—DDは神話に出てくる古代生物群です。主に天使・悪魔・堕天使の3種が人前で確認されていますが、その他にも魔獣と呼ばれる異形の獣やドラゴン、吸血鬼、妖怪などといった存

在も確認されています。

SCP—500—DDの多くは人間とコミュニケーションをとる知性が確認されています。

SCP—500—DDは神話毎にそれぞれ独立したコミュニティを構築しており、聖書、北欧、ギリシヤや神道といったものが報告されています。

彼らは総じて人間を見下す傾向があり、下僕や奴隷、食料として見ている個体が多く確認されています。

今回はアイテム番号：SCP—500—DD—1、聖書に登場する種族を書き記しています。

彼らはSCP—500—DDの中でも最も人間を見下す傾向が強く、時折人間を自らと同じ種族に改造しているのが確認されています。

彼らが転生悪魔・転生天使と呼ぶ存在はアイテム番号：SCP—500—DD—1—1が与えられています。

SCP—500—DD—1はおおよそ収容エリア“冥界”もしくは“天界”の中で過ごしており、特に何もすべきことはありません。アイテム番号：SCP—500—DD—1には、“神器”と呼ばれる様々なアイテムが存在します。これらは全てSCP—500—DD—1により作り出されたものであり、全人類に対してランダムで付与されます。SCP—500—DD—1、アイテム名“神器”を人体から取り除いた場合、取り出された個体は確実に終了することが確認されています。

業務内容

SCP—500—DD—1より連絡があり、2体のSCP—500—DD—1と？体のSCP—500—DD—1—1の駒王学園への留学がO5より承認されました。

私の任務は教師として彼らに接触し、監視・報告を行うことです。報告は週に一度、？曜日に纏めて行われます。

仮定の話として、任務中にSCP—500—DDによる想定外の被害が発生する可能性が存在する場合、私が対処する事は許可されています。

ます。

その際は最大限素性を隠し、任務に差し障りの出ないようにする必要があります。

500-DD-1の保有する記憶影響・ミーム汚染だと思われる。

・旧校舎の私物化と改築。SCP-500-DD-1の1体……
個体名「リアス・グレモリー」は表向きの身分である理事長の家内という立場を主張し、旧校舎を完全に私物化して業者を入れて改築が行われた。中に潜入したところ、SCP-500-DD-1-1が閉じ込められていると思われる部屋やバスルーム、何らかの意味を持つと思われる飾り付けが行われた部屋が確認された。今年度より授業料が増加したため、費用は学校の財源が使用されたと思われる。

・夜間の徘徊が確認されました。この行動は無許可で収容違反を起こした個体を狩るまで続きました。この行動はいわゆる自浄作用の一種だと推察されます。その際、科学的に明らかに存在し得ない雷、剣、赤黒い球体を確認。赤黒い球体はSCP-500-DD-1より出現し、あらゆるものを打ち消していました。彼らが収容違反個体を終了するまでに出た被害者は7名。全て救出し、記憶処理と偽造死体を用意したのち別の地方へ無作為に放逐しました。

追加報告として本日、拠点にSCP-500-DD-2……
個体名「無限の龍神」が訪ねてきました。

彼女はSCP-043-JPやSCP-299-JP、SCP-682といった理論上移動可能かつ高い戦闘能力を保持する個体、もしくは異常事象を起こす収容済みのSCPの解放・譲渡を依頼。

本部に報告するという返答をした結果、居着いてしまいました。

SCP-500-DD-2は現在幼い少女に擬態しており、この状況が続けば駒王学園に勤める帰国子女の独身英語教師という身分に対して影響が懸念されます。

その上、SCP財団男性職員みんなのアイドル消照闇子様を在ろう事かSCP呼ばわりする蛮行まで働いています。

私の堪忍袋の緒が切れて財団神拳を叩き込む前に、早急な返答と指示を求めます。

??年?月?日 曇り

本部より返答を確認。
以下、返答文書

現状、指定されたSCPを譲渡することは不可能であり、いかなる譲歩がなされようとも交渉に応じることはできない。

しかし将来的に指定されたSCPの研究・解明がなされた場合、場合によっては終了処分ではなく解放する可能性がないこともない。

なのでSCP―500―DD―D―2が財団の管理下に置かれている間に指定されたSCPの異常性の謎が解明された場合、コレを譲渡するという契約は可能である。

追伸

消照闇子はアイドルである。

君が本部から異動して以来、835ゲームズより2作品が発売されたので同封する。

ゲームソフトを同封してくださった本部の方、本当にありがとうございます。
ざいます。

SCP―500―DD―D―2は譲渡の条件に合意。

これからは両親が交通事故で死んだ遠縁の娘を引き取ったという設定で拠点に住み着くこととなり、支給金額が微増するという結果に落ち着いた。

SCP―500―DD―1はこれまでに報告したこと以外に特異な行動は確認されていない。

??年?月?日 雲多め

何度か女子更衣室の覗きを敢行していた3名の男子生徒に指導を行っていた結果、女子生徒からの人気が増加した。

といっても、良い人だと判定をされているだけだと思われる。

それよりも、何度指導しても彼ら3人の男子生徒が退学や停学などの処分を受けないのはSCP―500―DD―1の記憶影響・ミーム汚染の類なのか、或いは彼ら自身が新たなSCPなのかという疑いが

ある。

私が影響を受けていないとも限らないため、本部に追加の監視員を要求する。

本部より報告

派遣した監視員の報告から判断した結論として、SCP-5001-DD-1の影響により君の指導が彼らに対する罰則処分としての扱いになっているようだ。

彼らは通常より性欲旺盛ではあるが、普通の男子生徒である。

2 (原作開始済)

??年?月?日 大凡晴れ

私が1度新種のSCPではないかと疑問を持った彼らの1人に、未確認のSCP—500—DD—1が接触。

隣の??学園の生徒の振りをして告白、彼らの1人……兵藤一誠との交際関係を結びました。

天野夕麻と名乗り、長い栗色の髪に紅紫の目、巨乳が特徴の美少女であります。

#写真

念のため確認をお願いします。

追記

SCP—500—DD—D—2は自らのことを“オフィス”と呼称、以後そう記載する。

SCPを求めていた目的を供述。

どうやらSCP—500—DD—D—1、“真なる赤龍神帝”に住処を奪われたため、その報復を行うための戦力を求めていたとの事。

…… SCP—043—JPを要求したということは、SCP—500—DD—D—1を捕食する気だったのだろうか？

本部より報告

SCP—500—DD—1の“墮天使”アザゼルより報告。

添付された写真に近しい個体を確認。

個体名“レイナーレ”とその取り巻き数名が行方不明。

これは收容違反であり、現場の判断で終了処理の許可がおりていません。

“神器”と呼ばれるSCP—500—DD—2に含まれるアイテムを、人間から取り出す器具を持ち出しているため、被害者が存在する可能性があります。

??年?月?日 半端にくもり

本部より返答が来る前に、天野夕麻…… 個体名“レイナーレ”は兵藤一誠を殺害。

SCP—500—DD—1、個体名“リアス・グレモリー”の手によりSCP—500—DD—1—1に加工…… 彼女曰く転生が行われた。

以後、個体名“兵藤一誠”はSCP—500—DD—1—1として扱うものとする。

貴重な加工現場の動画を撮影、添付する。

#動画

動画で見てわかる通り、SCP—500—DD—1はチェスの駒の形をしたものを人間に埋め込むことでSCP—500—DD—1—1に加工しています。

人間がSCP—500—DD—1—1に加工される際、傷は完治することが確認された。

個体名“レイナーレ”を終了することは容易いが、それにより任務対象であるSCP—500—DD—1に気づかれる可能性を加味し、更なる被害が出るまで監視のみに留めることとする。

追記

“オーフィス”は“次元の狭間”と呼ばれるエリアに生息していたと供述。

静寂に包まれた場所だったらしく、最初に確認された時代から推測される年齢と比較すると幼稚で知識が少ない理由だと思われる。

財団神拳に興味を示している。

??年?月?日 夜

SCP—500—DD—1とSCP—500—DD—1—1が、旧校舎を私物化してまで行っていたことがついに判明しました。

どうやら彼らは“契約者”に“召喚”され、“願いを叶える”代わりに“対価”を回収しているようです。

新しくSCP—500—DD—1—1になった個体名“兵藤一誠”は、“魔力”というものがSCP—500—DD—1の幼体にも劣

るほどらしく、「召喚」されるための「魔方陣」を起動できないので代理手段として自転車で現場に向かうという行動に出たために、この行動は確認されました。

彼らを「召喚」するためには、対応したチラシが必要とのこと。

ここにはそのチラシの写真を添付。

チラシ自体は嚴重に包装して別口で送信する。

#写真

追記

「オフィス」が娘という立場を利用して、ゲームや漫画、玩具を強請るようになった。

経費で落とせるのかを本部に確認したい。

本部より報告

経費で落とすと、君の表向きの身分には不可解な資金が発生する可能性がある。

よって、任務終了後に君の口座に納金するという決定になった。

領収書はとっておきたまえ。

??月?月?日 晴れていた

SCP—500—DD—1が人間を加工する際に使用する「駒」には役職があることが判明。

役職の名称はチェスのとおりであり、「王」、「女王」、「僧侶」、「騎士」、「戦車」、「歩兵」の6種類。

「王」と「歩兵」の「駒」により得られる能力は不明。

「王」の役職にある者の実力によって、配下を加工できるかが決まる。

「歩兵」がプロモーション出来るかは不明。

「戦車」の「駒」により与えられる能力は防御力と筋力の増強。

キャスリング出来るかは不明。

「騎士」の「駒」により与えられる能力は速度の強化。

「僧侶」の「駒」により与えられる能力は「魔力」の強化。

“女王”の“駒”により与えられる能力は現在判明している“駒”
が与える能力の全て。

現在確認出来たのは以上である。

追記

“オーフィス”が知り合いという人間を連れてきた。

“曹操”と名乗る男で、おそらく学生だと思われる。

偽名ではなく、英雄の魂を受け継いだ本人だと主張するため精神病
院を紹介したら帰っていった。

そういう新種のSCPの可能性も懸念されたため、発信機を付けて
おいた。

周波数は??、確認願う。

本部より報告

SCP-500-DD-1は“駒”を“悪魔の駒”と呼称してい
る。

以後、そのように記載せよ。

発信機の所在を確認。

監視員を送った結果、他にも複数人「英雄の魂を受け継いでいる」と
自称する者を発見。

彼ら自身がSCPなのか、そういう記憶影響・ミーム汚染を行うS
CPが存在するのかを判断するため、監視を続行する。

??年?月?日 月のない夜

SCP—500—DD—1—1、個体名“兵藤一誠”が訪ねた一軒家で殺人事件が発生。

被害者はズタズタに切り裂かれたあと、壁に磔にされていた。

側には「神に代わってお仕置きよ！」と書かれていたため、SCP—500—DD—1、個体名“レイナーレ”の配下もしくは“教会”の手の者と推測されます。

個体名“兵藤一誠”は中に入ってから出てこなかったため、何らかの手段で転移を行ったと思われる。

現場には複数人の足跡が確認されました。

銀髪、赤髪、金髪など様々な頭髪や指紋が確認されましたが、警察がそれらを気にすることはなく、迷宮入りとなったそうです。

記憶影響・ミーム汚染が行われていると思われる。

追記

“オーフィス”が??モンにて厳選を始めました。

本部より報告

事件を確認。

最終的に殺人事件ではなく、事故として処理されていたことが判明。

被害者一家は??に車で旅行に出かけた途中でハンドル操作を誤り、海に落下したため回収は困難というのが結論となっていた。

おい、その先は地獄だぞ……！

??年?月?日 月夜

個体名“リアス・グレモリー”率いる複数のSCP—500—DD

—1—1の手により、個体名“レイナーレ”とその取り巻き数名と配下とされた人間?名が古びた教会で終了処理が行われました。

住所は

????????????

“フリード・セルゼン”と名乗る人間がその場からの脱出に成功したため捕獲、内部で起きたことと彼らが受けている記憶影響・ミーム汚染の確認を実行、記憶処理を行ったのちその場で解放しました。

個体名“レイナーレ”は人間“アーシア・アルジエント”という元キリスト教徒が所有していた、“聖母の微笑”という“神器”を自身に移植しようと計画していたようです。

“聖母の微笑”には肉体的な損傷を治療する能力があり、この際失った細胞はどこからか補填されます。

部位の欠損といった体の一部を失った場合や古傷は治せないという情報も得られました。

“アーシア・アルジエント”はこの力が原因で聖女として崇められていましたが、SCP—500—DD—1、“悪魔”を治療出来ることが発覚。

魔女として追放されました。

その後は“レイナーレ”に拾われ、“神器”を奪われて殺されるとも知らずに部下として生きていたそうです。

今回の件で彼女はSCP—500—DD—1—1、“転生悪魔”になったため新たな監視対象とします。

“悪魔の駒”の追加情報として、死亡した直後であれば蘇生は可能であることが確認されました。

“神器”を抜かれることが死因の場合、奪われた“神器”を取り戻すことが必要であると思われます。

個体名“兵藤一誠”も“神器”を所有していることが確認され、ソレは特異なものだということが判明しました。

“兵藤一誠”が所有する“神器”は“赤龍帝の籠手”と呼称され、“神器”の中でも最上級の力を持つ13種類の“神滅具”の1つだそうです。

“赤龍帝の籠手”には意識が存在し、自らを“赤龍帝”“ドライブ”と呼称しています。

SCP—500—DD—D—3として“赤龍帝”の登録を申請、未確認ですが“白龍皇”という個体も存在するという情報があるため、

SCP—500—DD—D—4は空けておいて下さい。

追記

“オーフィス”が消照闇子のライブチケットが欲しいと強請ってきました。

私も欲しいので、2つ以上用意できますか？

本部より報告

SCP—500—DD—1、“神器”に関する情報は常に不足しているため、今回の報告はとて有用でした。

その功績を加味した結果、ライブチケットではなくテレビ電話を繋ぐ許可が認証されました。

この連絡は原則として週に？回までとし、1回？時間以内かつ合計？時間以内のみ承認されます。

……
妬ましいぞ、代われ。

??年？月？日 晴れ

個体名“アジア・アルジェント”が留学生として編入した。

クラスは同じSCP—500—DD—1—1である個体名“兵藤一誠”と同じであり、住居も同様である。

“アジア・アルジェント”は“兵藤一誠”に対し、“恋愛感情”のようなものを持っている可能性がある。

元人間とはいえ、SCP—500—DD—1—1の“恋愛感情”がどういったものかを確認するいい機会だと思われる。

“アジア・アルジェント”は“僧侶”の役職として加工されました。

“神器”である“聖母の微笑”と“赤龍帝の籠手”は、人間から“転生悪魔”として加工されても使えるようです。

明らかに日本人ではない容姿なのに、不思議と日本語を完全に使いこなしていましたが、しかし唇は日本語の動きではなく、彼女の母国語の動きでした。

SCP—500—DD—1—1には完全な翻訳能力が備わってい

る可能性があります。

しかしそれは聞き取りと読み取り、発音だけであり、筆記には生かされないものであると推測されます。

追記

消照闇子ちゃんサイコー！

アイドルには国境も距離も不可能もないって初めて知ったよ。

“オーフィス”と一緒にテレビ電話で話している最中、突然インターホンが鳴ったんだ。

せつかくの至福のときを邪魔された私は居留守を使おうと思ったのだが、消照闇子ちゃんに出るように指示されたから出てみると……そこには先程までテレビ電話で話していたはずの消照闇子ちゃんが居たんだ！

思わず握手とサインを強請ってしまった。

これまで期間が長い上に自分が正気を保っているかが常々不安な最悪の職場だと思っていたが、最高の職場と書かざるをえないね！

本部より報告

?ねっ!悶え苦しんでのたうち回って?ねっ!

(しばらく見るに耐えない暴言が続く)

……失礼、取り乱しました。

“神器”はSCP-500-DD-1、“聖書の神”が創り出したものだとされていますが、“聖書”に登場しないものが存在しているという矛盾が指摘されました。

これは“キリスト教”の国が様々な国を侵略、植民地としたことが由来だと考えられています。

Dクラス職員の1人が“神器”を所有している事が発覚、摘出処理が行われました。

“神器”に対して行われた実験の結果、改造の能力を持ったSCPの対象とならないことが確認されました。

これは“聖書の神”が創り出した際何らかの細工を施した可能性と、今も何らかの影響下にあるという2つの意見が上がっています。

消照闇子ちゃんともまた会うことがあれば、俺の分のサインも頼む。
そもそも……

(以下、再び見るに耐えない暴言が続いている)

??年?月?日 青い空

監視対象であるSCP—500—DD—1に存在が発覚するとう、任務に支障をきたす事態が発生してしまった。

対処としてプロトコル・追加設定を発動、内容は後述。

私のSCP—500—DDに対する設定に、〃死んだ両親がそういったオカルトの研究をしていた〃というものと、〃遠縁の親戚がそういった事件に巻き込まれて死亡、その娘を引き取っている〃というものを追加した。

私の死んだ両親はSCP財団に所属する研究員であったため、オカルトと称される異常存在を解明する研究をしていたのは事実であり、〃オフィスの〃の両親役として死んだDクラス職員はSCPの情報を入力するための貴重な犠牲であるため、嘘ではない。

よってこの設定における嘘は、〃オフィス〃の両親が死んだということのみである。

今回のプロトコル・追加設定はSCP—500—DD—1、個体名〃グレイフィア・ルキフグス〃、個体名〃ライザー・フェニックス〃、個体名〃リアス・グレモリー〃とその配下のSCP—500—DD—1—1?名に対して発動されたものであり、SCP—500—DD—D—2である〃オフィス〃にも同様の設定を遵守してもらおうように指示をだした。

私の情報がSCP—500—DD—1に発覚してしまった原因は、SCP—500—DD—1が属する団体、〃オカルト研究部〃が活動内容の提出を滞納していることが発覚したため、活動停止処分の警告を行い旧校舎に向かった際、いわゆる〃ブレンチメイド〃の格好をしたSCP—500—DD—1、個体名〃グレイフィア・ルキフグス〃が学校に申請なく侵入していたことが発覚。

個体名〃リアス・グレモリー〃の親戚であると主張していたが、親戚だとしても手続きは必要であると説明を行っていた際、新たなSCP—500—DD—1、個体名〃ライザー・フェニックス〃が〃転

移”にて出現。

それと同時に炎を不用意に撒き散らしたため消火活動を行った結果、激怒。

更なる炎を全身から撒き散らしつつ突撃してきたため、確率論的回避と共振パンチを用いてコレを制圧。

個体名“リアス・グレモリー”は私が“神器”を保有している可能性を指摘していたが、個体名“グレイファイア・ルキフグス”により否定。

根拠として“神器の気配がない”と供述。

この発言によりSCP—500—DD—1には、“神器”を所有する人間を見抜くことが出来ると判断。

最初は私に対して記憶処理を行おうとしていたが、ある程度SCP—500—DD—1に理解があることを説明すると諦めたため、古くからある記憶を処理することは不可能なのだと判断。

SCP—500—DD—1がどれだけ遡って記憶処理を行えるのかは未確認だが、1度に???人の記憶を処理出来ることは確認されている。

プロトコル・追加設定を発動したのち、個体名“リアス・グレモリー”より個体名“ライザー・フェニックス”が婚約者であることを説明される。

それはそうと、例えば親族や婚約者であろうと校舎内に入る場合は正規の手続きを踏むように指導を行った。

追記

“オーフィス”にSCP—014—JP—Jが発現した可能性があるため、メンタルセラピストとのテレビ電話を要求します。

“オーフィス”は現在?? z o n で購入した眼帯とボタンを縫い付けた帽子、赤いウィッグとカラコン、身の丈程あるマント、何らかの木材を用いて作られた杖、傷のない左足に巻かれた包帯などを装着し、手を目の前に翳すポーズを取りながら「我が名はオーフィス……無限の龍神を生業とし、グレートレッドに復讐をなすものなり……」などと鏡の前で発言しています。

この現象と、消照闇子ちゃんに紹介されて？TA？で借りてきた”この??らしき??に??を！”という映像端末に登場するキャラクター、??みん”との関連性は不明です。

補遺：プロトコル・追加設定

現状の表向きの身分、つまり??年に駒王学園に就任した新任の英語教師。

両親は既に死去しており、遠縁の娘を引き取っている。

身長や体重、細かい経歴などは「削除済み」という設定となっており、役所にもそういう人物として過不足なく登録されている。

この設定に対し、大きく矛盾しない設定を追加することが今回のプロトコルである。

このプロトコルで追加される設定には、一定以上の前提条件を満たしていることが必要である。

1、SCP—500—DDに疑いを持たれるものであってはならない。

2、発動までに確認したSCP—500—DDの情報と矛盾してはならない。

3、嘘を嘘で塗り固めるのは下策である。嘘は必要最低限であること。

本部より報告

プロトコル・追加設定の発動を承認。

コレからはより精度の高い情報が得られることを期待する。

SCP—014—JP—Jである人物にこのことを報告した結果、彼女は突然奇声をあげながら床を転がり始めたため、SCP—014—JP—J2がSCP—500—DD—D—2に発現していると判断、メンタルセラピストとのテレビ電話が承認されました。

現在、彼女は「ぶつころ」と書かれた置き手紙を残し、連絡を絶っています。

この文章がどういう意味を持つかはわかりませんが、SCP—014—JP—

J2に関係している可能性もあるため、警戒を怠らないことを推奨
します。

??年?月?日 紫色の空の下で

SCP—500—DD—1、個体名“ライザー・フェニックス”が配下であるSCP—500—DD—1—1、15体14体とSCP—500—DD—1、個体名“レイヴェル・フェニックス”を伴い接触してきた。

未承認の收容違反者であるSCP—500—DD—1—1個体を発見。

量子歩法を活用しつつ追跡したところ、上記のSCP16体が集結していることを確認。

目的を調査するために追跡を続行したところ、私を誘拐しようとしていたようだ。

動機としては“婚約者”である個体名“リアス・グレモリー”の前で恥をかかされたことだろうか？

SCP—500—DD—1は人間を見下す傾向が顕著であるため、人間に制圧されたことは立派な恥であると推察されます。

何らかの対策をすることは私の身分と矛盾が発生することが危惧されるため、普段通りの生活を送るものとします。

これは私の身に何かがあった場合のための保険である。???国の??銀行に???が隠してある。口座番号とパスワードは????、??。

その後、SCP—500—DD—1、個体名“ライザー・フェニックス”と“レイヴェル・フェニックス”が訪問してきました。

その様子の映像記録を添付しておきます。

#動画1

個体名“レイヴェル・フェニックス”は人間を基準とした礼節を守って行動していましたが、個体名“ライザー・フェニックス”は常に不機嫌かつ無作法であったといえます。

個体名“レイヴェル・フェニックス”より「先日の謝罪をするために家に来て欲しい。」と要請され、コレを了承。

“転移魔法陣”なるものを使用し、收容エリア“冥界”に向かうこ

とになりました。

“転移”先は家などどちらを向いても存在しない平原でした。

そこに個体名“ライザー・フェニックス”の配下であるSCP―500―DDD―1―1、14体が配置されており、私に敵意を向けていました。

そこに個体名“ライザー・フェニックス”並びに個体名“レイヴェル・フェニックス”が現れ、「俺様に恥をかかせた貴様はここで無残に死ぬ。」と発言し襲撃してきたため対処、記憶処理にて全個体から私を襲撃した記憶を剥奪。

個体名“ライザー・フェニックス”からは旧校舎で起きたことの記憶を都合の良いように解釈するよう、軽度の思考操作を実行しました。

戦闘記録は私の視界と連動している主観カメラにて撮影された動画のみです。

#動画2

彼らの羽根は明らかに肉体を浮かせることが出来る形状ではないのにも関わらず、彼らが浮遊することが出来る理由は解明できませんでした。

しかし共振遠当てや爆風キャンセリングは通常通り効力を発揮したため、時空間異常やトリックなどではないと判断しました。

追記

SCP―014―JPが我が家を訪問、私にバックドロップを決めて去っていきました。

その様子の映像記録を添付するは削除されました。

#動画3

“オーフィス”は最近、カツカレーやラーメン、寿司といった児童に高い人気を持つ料理を要求するようになりました。

他にも“マンガ肉”と呼ばれる骨つき肉の一種や、“元気??ン?”などの架空の飲料を再現した物を要求することがあります。

資金源は不明ですが、自分で人形やぬいぐるみを取得することがあります。

“オーフィス”に資金源を聞いたところ「我……自動で貯まる財布を手に入れた。」と供述していたため、そういったSCPが存在する可能性があります。

収容違反に対する警戒の強化を希望します。

本部より報告

SCP—500—DD—1が人間に対し高圧的かつ見下す傾向が顕著であるというのは情報通りだが、まさかここまで行動を起こすとは予想外であった。

この情報は新しくSCP—500—DD—1の記録に登録するものとする。

並びに種族名“悪魔”に属する“フェニックス”は特に不死性が高いという情報があったが、財団神拳にて対処可能な程度とも登録する。

SCP—014—JPには任務妨害をした罰として、嚴重注意と三カ月の減俸処分が言い渡された。

彼女はフィールドエージェントとしてとても優秀であるため、嚴罰はない。

SCP—500—DD—2の供述する“自動で貯まる財布”とは、他のSCP—500—DDより強奪した金を両替したものと発覚した。

なのでそういった類のSCPの収容違反が発生したという事実は存在しないと通達する。

??年?月?日 紫色の空の下の校舎の側で

個体名“リアス・グレモリー”と個体名“ライザー・フェニックス”が“レーティングゲーム”という非公式の試合を行い、婚約の是非を決めるという情報が入った。

この情報はSCP—500—DD—1、個体名“グレイファイア・ルキフグス”より“招待状”と共に与えられたものである。

“レーティングゲーム”とは“貴族悪魔”同士が“眷属”である

“転生悪魔”とともに、“試合毎に定められたルール”に則って行われる“戦争遊戯”である。

“眷属”の“転生悪魔”はSCP—500—DD—1—1、種族名“転生悪魔”とは限らず、“悪魔の駒”によって“役割”を与えられた“悪魔”全般のことを指すものとする。

“招待状”は前述した非公式の試合の観客としてのものだった。仮にも教師たるもの、ドレスコードに適した衣装を1つは常備している……ただのスーツであるが。

SCP—500—DD—D—2、個体名“無限の龍神”から1匹の黒い蛇を贈呈されました。

この蛇は私が受け取ると同時に変形を開始し、現在蛇革の黒い腕輪となつています。

緊急時にはSCP—500—DD—D—2である“オフィス”がコレを頼りに救援に来ると発言したが、緊急事態として私が終了してしまつた場合の文章を残しておく。

SCP—500—DD—D—2は以前報告した通り、精神的に幼い。

それ故に騙されやすく、染まりやすい傾向にあると思われ、もしもその力がSCP財団ひいては人類に牙を剥いた場合は、非公式ですがRK—クラスの再構築シナリオに相当する可能性が極めて高いと思われる。

私も生存し、対話が可能な限り誘導を試みますが、この情報は胸に留めておいてください。

“レーティングゲーム”は“戦争遊戯”というだけあって、お遊びとしか言いようのないものだった。

SCP—500—DD—1の異常性である高い身体能力と“魔力”を用いた“魔法”という技術は確かに脅威ではあったが、個体名“ライザー・フェニックス”とその“眷属”程度であれば、装備を整えた同人数のDクラス職員で対処可能だと判断。

財団神拳を習得しているCクラス職員ならば、誰であろうと私と同じように単騎で終了可能である。

今回の「レーティングゲーム」の内容について映像記録を添付、念のため記載する。

#動画

ステージは「駒王学園」で、個体名「リアス・グレモリー」は「旧校舎」、個体名「ライザー・フェニックス」は「新校舎」を陣地として配置。

駒王学園見取図を添付しておく。

#駒王学園見取図

試合の流れとして……

(原作というか他の作者様と対して変わらないのでカット)

…… 個体名「兵藤一誠」の敗退で心が折れたのか個体名「リアス・グレモリー」が「投了」、決着となった。

監視対象である個体名「リアス・グレモリー」とその「眷属」が収容エリア「冥界」に收容された場合、もう1人の監視対象である個体名「支取蒼那」とその「眷属」の監視任務を優先する。

追記

「オフィス」はこちらの指示通り、定期的にメンタルセラピストやカウンセラーとのテレビ電話を行なっている。

その結果奇抜な衣装や発言は趣味の範囲に落ち着いたが、今度は上半身を不自然に逸らし、人差し指を鏡に向けるというポーズを試行錯誤しながら1時間近く続けるという新たな行動を確認しました。

この行動と足元に落ちていた「ジョ??の??な冒険」の単行本との関連性は不明です。

この行動とSCP-014-JPとの関連性が確認された場合、彼女の精神は現在限りなく14歳の女子に近いと推測できます。

本部より報告

「レーティングゲーム」という単語は以前より確認されていましたが、実際の映像記録を入手したのは初めての出来事です。

とあるSCP-500-DD-1は「レーティングゲーム」のことを説明する際、「戦争に備えた訓練でもある。」と供述していました

が、非公式とはいえ流石にコレを戦争とは言いがたい。

致命傷を負う前に行われる救出、兇戯にも等しい戦術論、そして数を集めようと一掃可能な個の存在。

実力が拮抗した相手とチェスを行う方が、？倍の経験となると思われる。

このまま個体名“リアス・グレモリー”が収容された場合、個体名“支取蒼那”に専念することを承認。

個人的な話だが、次は“di？？re”というゲームをさせてみてはどうか？

全年齢版もあるので安心してほしい。

??年?月?日 SCP—8900—EXで染まった青い、青い空
 あの後個体名“ライザー・フェニックス”と個体名“リアス・グレ
 モリー”の婚約披露宴が行われた際、個体名“兵藤一誠”が会場に乱
 入。

その場にいた“魔王”と呼ばれる役職を担うSCP—500—D
 D—1の承認の元、個体名“ライザー・フェニックス”との一騎打ち
 を行いコレに勝利、個体名“リアス・グレモリー”の婚約破棄が決定
 した。

映像記録を添付。

#動画

レーティングゲームの結果で決めるとい話はどうなったのか？

その際個体名“兵藤一誠”は左腕を“神器”“赤龍帝の籠手”に
 捧げることにより、一時的に“禁手”と呼ばれる能力の強化を行っ
 た。

“赤龍帝の籠手”の能力は“10秒ごとに所有者の力を倍加する
 ”というもので限界値が存在するが、“禁手”である“赤龍帝の鎧”
 では“限界値まで時間経過無しで倍加を行う”ことが可能となる。

“神滅具”という2つ名に恥じない強力な能力ではあるが、その特
 性上所有者の実力に大きく左右されると思われる。

“赤龍帝の籠手”の能力である“倍加”が何を基準にして“力”
 を測っているのかが不明瞭なため、断言は出来ない。

個体名“リアス・グレモリー”とその“眷属”が収容されないとい
 う結果になったため、これまで通りの任務を継続することとする。

追記

“オーフィス”が「うそ、私の服のセンス…… コズミック変質者
 並み……？」と発言しているのを確認。

ちなみに初接触時に“オーフィス”は黒色のヘッドドレス、白色の
 かぼちやパンツ、紫色の背中用リボン、桃色の首用リボン、前半分が
 存在しないゴシックアンドロリータの服、そして胸に黒色のテープの

みを装着していたため、むしろ露出度と変人度に関しては裸マントと名高い彼よりも高かったのではないかと思われれます。

その当時の写真と現在の写真をそれぞれ添付するため、確認をお願いします。

#画像1

#画像2

元々「オーフィス」が着ていた服は、どうやら「鱗」に該当するものだと思います。

SCP-500-DD-1と戦った際、損傷していたのでしょうか？

本部より報告

任務継続、了解。

「赤龍帝の籠手」による「倍加」の基準は「所有者の認識で変化する」のではないかと??博士による報告書が渡されました。

??博士が個体名「兵藤一誠」が人間だった時の身体能力と現在の身体能力を比較した結果、それが予想される「倍加」の上昇値1回分にほぼ等しいことが確認できました。

その結果から「もしSCP財団職員が手に入れた場合、それは即座に使用を止めるべきである。なぜなら我々の基準値とはSCPであり、その認識の場合むしろ力が減少する可能性すら考えられる。」と判断されました。

確認されている中ですが、近年SCP-500-DD-DD-1とSCP-500-DD-1が争った痕跡は見つかりませんでした。

装いに関してはSCP-500-DD-DD-2の個人的趣味、もしくは君より先に遭遇した人物に指導されたものであると推測できる。どこの誰かは知らんが、グツジョブ！

そしてその認識は君の手によって是正されつつある。

SCP-500-DD-DD-2のオブジェクトクラスをKeeperからEucclidに変更する日も遠くないかもしれない。

??年?月?日 バケツをひっくり返したような土砂降り

SCP-500-DD-1-1、個体名“木場祐斗”が何者かに襲撃されました。

全身に裂傷が確認されており、近頃発見されている神父の斬殺死体との関連性があると思われます。

一連の事件の現場に共通して残る遺留物は??cmの足跡、??cmの長さの銀色の毛髪、そして悪趣味なほどに破壊された神父の死体であり、以前聴取を行った“フリード・セルゼン”との関連性が疑われます。

治療を終えた個体名“木場祐斗”より犯人は“フリード・セルゼン”だと確定しました。

“フリード・セルゼン”はSCP-500-DD、アイテム名“聖剣”を所有しており、以前より強化されているそうです。

“聖剣”は文字通り“聖なる力”を宿すSCPであり、それはSCP-500-DD-1、“悪魔”に属する存在に対して強力な“毒”となる。

個体名“木場祐斗”が所有する“神器”、“魔剣創造”において創造可能な“魔剣”は、オリジナルの“聖剣”より格が劣るのだと推測されます。

この出来事に対し個体名“リアス・グレモリー”は“眷属”に対して警戒の強化を指示、私に対しては“眷属”を護衛に付けようかと訊ねてきたため、コレを保留としました。

男性型の“眷属”である2名のうち、個体名“木場祐斗”は負傷中、個体名“兵藤一誠”は実力不足と判断される。

その場合護衛になりうる“眷属”は女性型のみとなる。

男性教員が女子生徒を家に連れ込んだなどという噂が立ってしまった場合、任務継続に支障をきたす恐れがある。

帰宅後に“フリード・セルゼン”の捜索を行った結果、廃棄された工場にてその姿を確認。

その他にSCP-500-DD-1、“堕天使”の個体名“コカビ

エル”と？歳ほどと思われる人間、仮称 “老人A” を視認した。

個体名 “コカビエル” を首領とし “老人A” が技術担当、 “フリード・セルゼン” を戦闘員とした集団であると確認。

彼らの姿を画像として保存、添付する。

#画像1

#画像2

#画像3

彼らが保有する “聖剣” は3本。

“透明の聖剣”、 “天閃の聖剣”、 “夢幻の聖剣” と呼称し、能力は順番に “透明化”、 “所有者の加速”、 “幻覚の投影” だと推測されます。

個体名 “コカビエル” の目的は “戦争の再開”。

これは様々な神話における “終末戦争” を示唆するものだと思われる、人類に対する被害という観点から決して実現させてはならないと愚行させていただきます。

早急な終了処分の許可を願います。

追記

“オフィス” は私が毎日どこに出かけているのかを訊ねてきました。

仕事である教師を説明するにあたり、学校について説明したところ自分も行きたいと発言。

? 学校に編入させるべきでしょうか?

本部より報告

SCP | 500 | DD | 1、個体名 “コカビエル” をオブジェクトクラス: K e t e r になりうる存在とし、終了処分申請を認証。

この任務には保険として、2名の追加要員をそちらにおくる。

彼らは??年?月?日????に現場に到着するため、それまではなるべく手を出すな。

それと、君が失敗しない限り彼らは闇に潜み続ける予定のため、助力は期待するな。

SCP—500—DD—D—2は外見を自由に変更出来るという情報を得ている。

？学生としての常識や倫理を守り、節度を持って？学生として異常性が確認されるような行動を取らないと判断された場合、認証される。

それまでは君が家庭教師を務めるように。

??年?月?日 放課後

灰色のマントの下に全身タイツに類似する服を着た痴女2名が、武装して駒王学園に不正に侵入している現場を発見。

教員として指導を行っていた最中、SCP-500-DD-1、個体名「支取蒼那」よりSCP-500-DD-1、「教会」の「エクソシスト」であると判明。

役職より仮称を「エクソシストA」、「エクソシストB」と設定。

学外でならともかく、学内にてなんらかの行動を行う場合には正式な手続きを行うよう伝達せよ、と指導を行った。

こういった人間社会的な些事を怠る出来事が何度もある理由は、最終的には記憶処理が可能であるという自尊心によるものだと思われる。

「教会」の「エクソシスト」2名は記憶処理を行う技術はないのにも関わらず、そういった行動をとるのは何故かと問いたただいたら、以下の供述が得られた。

—————

私：君らは何故、正規の手続きをとらなかつたのかね？

「エクソシストA紫藤イリナ」：だって私達は今、神の御意志に従って任務を遂行しているのだから。つまり正義！

「エクソシストBゼノヴィア」：相方のこいつほどのことを言うつもりはないが、基本私達はヨーロッパの方に居てね。まあ、エクソシストとして活動しているというのは、教徒に対してはある程度の免罪符となるんだ。その時の感覚が抜けきらなくてね。

私：ふむ。つまり君たちは「クエ」のように他人の家に無断で侵入、強奪を行ったとしても、周りが訴えないから大丈夫……と言いたいのかね？

「エクソシストBゼノヴィア」：「クエ」……というのは知らないし強奪などは行わないが、間違っただけはない。この国では許されない行為だったのなら謝罪しよう。しかし、我々は今任務の途中

である。なので処分はしばらく待ってもらいたい。

私：では、1度正門まで戻ってもらおう。その場にいる??さんに事情を説明し、書類に記入して入場証を貰ったなら私も文句は言わんよ。

—————

この発言から「エクソシストA紫藤イリナ」には、重度の記憶影響・ミーム汚染が行われている可能性が示唆されています。

SCP-500-DD-1、「聖書の神」の言うこと成すことは全てが正しく、それに従う私に逆らう相手は全て悪と言わんばかりの態度を取り続け、最後まで指導からの逃走を狙っていました。

「エクソシストBゼノヴィア」はまだ比較的理性的ではありませんが、「聖書の神」が言ったことが最も正しく、それを実現することが最優先であるという基底は変わりありませんでした。

記録外の発言により「教会」には信仰の手法によって派閥があること、「エクソシストA紫藤イリナ」は「プロテスタント」、「エクソシストBゼノヴィア」は「カトリック」と呼ばれる派閥に所属しており、他に「正教会」と呼ばれる派閥の存在が確認されました。

「エクソシストA紫藤イリナ」と「エクソシストBゼノヴィア」の受けた記憶影響の差が時間によるものなのか、本人の資質によるものなのか、派閥によるものなのかは不明ですが、どちらも生後すぐに「教会」に属したことが確認されています。

彼らは正規の手続き通り書類に記載、その後SCP-500-DD-1、個体名「リアス・グレモリー」の居場所を訊ねてきました。

特に用事もなかったため案内、到着後個体名「リアス・グレモリー」と「エクソシスト」が対談。

対談の映像記録を添付

#動画1

内容は映像記録の通り、「教会」の保有していた「聖剣」、分類名「エクスカリバー」が「3本」、SCP-500-DD-1、「墮天使」個体名「コカビエル」の手により強奪され、この駒王町に持ち込まれた件についてでした。

この「強奪された聖剣」は、先日報告した3種と一致します。

“教会”は“墮天使”と“悪魔”が手を組んでいるのではないかと疑っており、個体名“リアス・グレモリー”に対してこの件に関わらないことを要求、承認されました。

映像記録より“エクソシストA”、“エクソシストB”の名称は“紫藤イリナ”、“ゼノヴィア”と判明、修正しました。

“紫藤イリナ”、“ゼノヴィア”はそれぞれ、“擬態の聖剣”、“破壊の聖剣”を所持しています。

“擬態の聖剣”の能力は文字通り“擬態”であり、私の目では見抜くことはできませんでした。

即刻収容し、能力の限界を確認したかったです。

“ゼノヴィア”が所持する“破壊の聖剣”の能力は不明です。

対談後、“紫藤イリナ”がSCP—500—DD—1—1、個体名“アーシア・アルジェント”を終了しようと試み、“ゼノヴィア”は実行しようとした結果、個体名“木場祐斗”との戦闘が発生。

その隣で“紫藤イリナ”と個体名“兵藤一誠”による模擬戦が行われた。

戦闘映像を添付する。

#動画2

個体名“木場祐斗”の発言から、“聖剣計画”という存在が発覚。

“聖剣”には適性が必要であるらしく、人工的に適性のない人物でも“聖剣”を使用可能にするための研究であり、個体名“木場祐斗”は人間のとき“聖剣計画”における使い捨ての被験体の1人であったようです。

この戦闘により“破壊の聖剣”の能力は“衝撃波の発生”だと判明しました。

この後せっかくの機会だったため“聖剣”の適性が私に存在するかの確認として、“破壊の聖剣”を軽く握ったところ重量が急激に増加。

大体??kgほどであったため、財団神拳を応用すれば振ることだけなら可能であったと思われます。

“能力”は使用できませんでした。

私には適性がないのだと判断されました。

追記

“オーフィス”は私の授業に対して熱心に取り組んでいます。

理由を訊ねると「我、学校に行つて青春する。宇宙人、未来人、異世界人、超能力者との学園生活を目指して……」と発言。

“宮??ヒの??”をこの家に送つたのはどこのどいつだ?

…… “宮??ヒの??”との関連性は不明です。

不明と言つたら不明なんです。

本部より報告

すり替えておいたのさ!

SCP—500—DD—1、 “教会” に潜入している職員より、現在所在が判明している分類名 “エクスカリバー” は “祝福の聖剣” のみとなります。

“支配の聖剣” と呼ばれるアイテムも存在しますが、所在は不明です。

職員に記憶影響・ミーム汚染は確認されないため、 “教会” で行われているミーム汚染は本人が受け入れる必要があるのだと思われます。

“エクソシスト” 2名では、現状ではオブジェクトクラス：Euc lid に属するSCP—500—DD—1、 個体名 “コカビエル” に勝機は皆無であります。

彼女たちが個体名 “コカビエル” に挑んで被害を受けたとしても、それは君の責任問題にはならないため、好きにしてい。

非公式の話なんだが、今度消照闇子がついに武? 館デビューすると思う噂がある。

最高のライブになると思わんかね?

教会”から送り込まれた存在らしく、“聖剣”を奪った個体名“コカビエル”の配下が神父を襲っているのだと考え、SCP-500-D D-1-1、4名は神父のコスプレをする擬態作戦を実行し、成功。“天閃の聖剣”を所持した“フリード・セルゼン”が襲撃を仕掛けてきました。

途中“エクソシスト”2名が合流、SCP-500-DD-1-1、4名、“エクソシスト”2名と“フリード・セルゼン”の戦闘中、に老人Aバルパー・ガリレイ”が出現。

“フリード・セルゼン”に対していくつかのアドバイスを施した後、撤退を指示。

“フリード・セルゼン”は閃光玉を使用し攪乱した後撤退。

“エクソシスト”2名と個体名“木場祐斗”が追跡しました。

私は追跡する3名を尾行、個体名“コカビエル”の拠点である工場跡に到着しました。

個体名“木場祐斗”と“エクソシスト”2名は個体名“コカビエル”との戦闘を開始。

流れ弾を量子歩法と確率論的回避を用いて回避しながらの撮影であったため、映像が不明瞭なところがあります。

#動画

動画の通り、3名は敗走。

その際“擬態の聖剣”は鹵獲されました。

ついでに個体名“コカビエル”の終了処理を実施。

量子歩法を応用して心臓を破壊、終了処理を完了しました。

その後激昂し襲いかかってきた“フリード・セルゼン”、“バルパー・ガリレイ”は捕獲し、派遣されていたエージェントに引き渡しました。

そのエージェントが個体名“コカビエル”の処理は済ませておくと言っていたので、私はその場を去りました。

“擬態の聖剣”、“天閃の聖剣”、“夢幻の聖剣”、“透明の聖剣

”は回収したため、梱包してそちらに送ります。

追記

“オーフィス”は今日も元気です。
消照闇子ちゃんの武？館ライブ……だど？
私の権限が及ぶ範囲で可能なあらゆることを行う所存である。

本部より報告

未だ追加要員が到着したという連絡は受けていない。

それはSCP財団を騙っている偽物である可能性が極めて高い。
届いた分類名“エクスカリバー”に属する4本の“聖剣”には一切の異常性は確認されなかった。

それぞれ一部くり抜かれた痕跡が確認されているため、同様の人物もしくは組織により行われた犯行であると推測されている。

今回の件で君に処分が下ることはおそらくないが、SCP財団に敵対的ないずれかの組織が君を捕捉した可能性がある。

警戒を怠るな。

??年？月？日 白龍の降った日

何がどうなってやがる！

“フリード・セルゼン”と“バルパー・ガリレイ”は捕縛時、両手の骨を抜き取り筋肉を共振破壊して、喋ることと生きることしかできないように処理を施したはずだ！

それだけならまだしも、個体名“コカビエル”がなぜ生存している！

心臓をナイフで破壊し、念のため頭蓋を踏み砕いたはずだ！

私が仕留めたのは幻覚だったのか!?

私はなんらかの記憶影響・ミーム汚染を受けている可能性が極めて高いと言わざるをえない。

Bクラスの記憶処理を申請する。

“神器” “幽世の聖杯”で蘇生・改造された個体名“コカビエル”、“フリード・セルゼン”、“バルパー・ガリレイ”と個体名“リアス・グレモリー”とその“眷属”が駒王学園にて戦闘行動を開始。
その間私は“幽世の聖杯”を所持する正体不明の“青年A”から

襲撃を受け、対処していたため映像記録は確保できませんでした。

“青年A”は“幽世の聖杯”だけでなく、“龍の手”、“赤光矢”など複数の“神器”を使用していました。

いくつかの傷を負いましたが、撃退に成功。

正確にはトドメを刺したと確信したのですが、肉体がまるで蜃気楼のように消え失せたため、個体名“コカビエル”と同様に蘇生されているものと考えられます。

“青年A”は常に「正しき流れを乱すな。」と繰り返し唱え続けていました。

追記

定期的な消照闇子ちゃんとのテレビ電話から、武？館ライブではなく世界ツアーであることが発覚しました。

正確には世界中の主要なSCP財団支部を巡り、各地でライブを行うようです。

日本支部には????に来るそうです。

本部より報告

なん……だ……と……!!?

ビッグニュースじゃないか!

とと、報告ご苦労。

“青年A”と思われる人物の所在は不明、“正しき流れ”に関する言葉を重視する組織を重点的に調査する。

“神器”は本来1人1つであり、複数所持するならば他人から奪う必要がある。

つまりそれだけ強い、もしくは命すら厭わない集団である可能性も示唆されている。

今後どのような事態が起こるかわからないため、追加要員を編入生として送る。

設定上君の姪にあたる人物となるため、便宜を図ること。

彼女は?????に住む予定である。
?????

??年?月?日 魔王、襲来

出来れば追加要員は甥という設定が良かった。

世間の目が……突き刺さる……！

本日、SCP—500—DD—1、分類名「魔王」、個体名「サーゼクス・ルシファー」、個体名「グレイフィア・ルキフグス」は個体名「リアス・グレモリー」の保護者として正式な手続きののち、授業参観に参加しました。

個体名「リアス・グレモリー」を訪ねた客の中で現在唯一、まともに手続きをしている。

彼らは一般的な、しかし高品質だとわかるスーツを着ていたため、個体名「リアス・グレモリー」の親族が訪問したという事実が噂話となる以外の出来事は発生しませんでした。

さらに分類名「魔王」、個体名「セラフォル・レヴィアタン」がいわゆる魔女っ子のコスプレをして侵入。

正式な手続きは踏んでいたものの、場にそぐわない格好及び撮影会という騒動を起こした2点から指導と強制退去を行った。

騒ぎを聞きつけてやってきた個体名「支取蒼那」から謝罪と感謝を受けた。

個体名「サーゼクス・ルシファー」は個体名「リアス・グレモリー」とその「眷属」に対し、個体名「コカビエル」と戦った者として「悪魔」、「天使」、「墮天使」の「三竦みの会談」に出頭することを指示。

個体名「リアス・グレモリー」はコレを快諾、?月?日の?時?分に指定された場所に向かうと発言。

「会談」は?月?日に「駒王学園」で行われるようです。

正式な手続きを済ませているなら、一介の教師に過ぎない私が何かを言うことはありません。

個体名「サーゼクス・ルシファー」は私に対しても出頭を要求。

私は知っているだけの教師に過ぎないと答えることで拒否を試みましたが、それでも構わないと押し切られてしまいました。

私はSCP-500-DD-1の常識やマナーに疎いため、なんらかの無礼となる言動をとるかもしれないと先に伝えた結果、「会談」の最中に私が行おうとも問題にしないと「魔王」として契約すると発言。

私は「会談」に参加することになりました。

さらに分類名「堕天使」個体名「アザゼル」がSCP-500-DD-1-1、個体名「兵藤一誠」に接触していたようです。

追記

追加要員にて届けられたSCP-978を用いて、「オフィス」の写真を5度撮影しました。

1枚目

撮影された行動：こちらを無表情に見る木製の椅子に座っている。

撮影結果：「次元の狭間」と思われる空間で、SCP-682など？体のSCPを従えながら、SCP-500-DD-1、「真なる赤龍神帝」を討伐して勝鬨をあげている。

何故か私も写っている。

2枚目

撮影された行動：テレビでアニメーション番組を見ている。

撮影結果：その時見ていた番組、^{???}の主要登場キャラクタ

ーと共に、敵勢力と戦っている。

SCP-500-DD-2、「無限の龍神」としての能力は喪失しているように見える。

3枚目

撮影された行動：夕食を食べている。

撮影結果：約？倍ほどの料理を食べている。

4枚目

撮影された行動：日の当たる部屋で寝ている。

撮影結果：変化なし。

5枚目

撮影された行動 : SCP-978の機能を伝えた後、1枚目と同じ行動。

撮影結果 : “次元の狭間”と思われる空間に向かう途中、撮影者の方向に振り向いている。

近くに、消照闇子のCDやコミックスなどが落ちている。

1枚目の撮影結果より、“オフィス”の目的はSCP-500-DD-D-1の討伐であると判断されます。

2枚目の撮影結果より、“オフィス”には英雄的な行動に対して、憧れのようなものが存在する可能性が示唆されています。

3枚目の撮影結果より、食事が不足していると発覚。食事を?倍に増量することにしました。

5枚目の撮影結果より目的を果たした後、“次元の狭間”に帰還するかどうかを悩んでいるように見えました。

結果と推測は以上です。

撮影した写真は前回のようにつまみ取られる可能性を考え、全て別に方式で送付しました。

本部より報告

“会談”にあたり、必要に応じてSCP-500-DD-D-2、“無限の龍神”との関係を公開することを許可されました。

ですがそれは君の首を絞める行動にもなるため、出来るだけ避けるべきである。

写真は無事全て届いた。

君が“会談”に参加するにあたり、主要な人物をSCP-978で撮影してほしい。

その後、SCP-978を回収するためのエージェントを派遣します。

??年?月?日 晴れ、ところにより時間停止

SCP-500-DD-1、分類名“墮天使”、個体名“アザゼル

“がSCP―500―DD―1―1、”転生悪魔”？名のいた駒王学園の??に侵入。

即刻捕縛、指導、強制退去を行いました。

身分証の提示と書類1枚への記入のみなのに、どうしてここまで無視されるのか。

その後正式な手続きのあと、再度”転生悪魔”？名と接触。

いくつか”神器”に関するアドバイスを残し、去っていきました。突然現れてアドバイスを残して去っていくカッコいい感じを演出したかったのかもしれませんが、一度捕縛されたのを目撃されているため、場はなんとも言えない雰囲気に含まれていました。

こればかりは悪いことをしたなと思う。

個体名”リアス・グレモリー”の”眷属”、もう1人の”僧侶”が確認されました。

#画像

元の種族はSCP―500―DD―2、”民間伝承”に属する”吸血鬼”と人間の混血児であり、写真で女子生徒用の制服を着用していますが男子生徒です。

この性的に逆転していると思えない容姿、服装が種族的な傾向であるのか、個体名”ギヤスパ―ヴラデイ”固有のものかは不明です。

個体名”ギヤスパ―ヴラデイ”は”停止世界の邪眼”という”神器”を所有していますが、完全なコントロールに失敗しています。

本来、視界内に存在する任意の対象の時間を止めることができる能力なのですが、個体名”ギヤスパ―ヴラデイ”は感情の高まりによってその能力を暴走。

”その場にいる全ての対象”の時間を停止します。

コレは一時的なものであり、本人の意思による解除が可能です。

個体名”ギヤスパ―ヴラデイ”はこの”神器”を所有していることを理由に迫害を受けたため、”停止世界の邪眼”を酷く嫌悪しています。

追記

“オフィス”はSCP-978による撮影のあと、他にどのようなSCPがあるのかと、繰り返し質問してきています。どの程度までの情報を与えても大丈夫でしょうか？

本部より報告

君は何を言っているんだ？

こんな可愛い子が女の子のはずがないじゃないか。

所有者が“神器”を扱いきれずに暴走している場合、それは大きな被害を齎す災厄になりかねない。

現状、扱いきれずとも封じることができているため問題はないとするが、もしもの場合は「削除済」する必要があるということをお忘れな。

SCP-500-DD-D-2にはオブジェクトクラス：SafeのSCPに関する異常性のみ伝達することが許可された。

収容違反の手引きを行う可能性がないと完全に証明されるまで、決して収容方法や収容エリアに関する情報を漏らしてはならない。

??年?月?日 会談実施日

SCP―978と“オーフィス”製の“蛇革の腕輪”を持って、しばかり動きやすく改造したスーツを着込み、深夜?時の駒王学園に到着した。

SCP―500―DD―1、“悪魔”、“天使”、“堕天使”の3種族それぞれからのボディーチェックで問題なしと判断を受け、“会談”が行われる??室に入室した。

予定開始時刻である?時?分に会談開始。

いくつか雑談のようなものを行ったのち、個体名“リアス・グレモリー”に対して個体名“コカビエル”の起こした事態についての説明を要求。

説明を終えた後は陣営“堕天使”に属する“神器”、“白龍皇の翼”の所有者、個体名“ヴァーリ・ルシファー”と陣営“悪魔”に属する“神器”、“赤龍帝の籠手”の所有者、個体名“兵藤一誠”に対しての質問を行った。

3種族がそれぞれ和平に合意の意見を見せ、これから内容を詰めていくといったところで時間が停止。

能力が一定に満たない者のみが停止の影響を受けました。

私はシュレインガー的判定を用いて、停止能力を無効化することで回避しました。

その後、SCP―500―DD―1に対するテロが発生。

分類名“悪魔”、個体名“カテレア・レヴィアタン”は自分たちのことを“禍の団”と名乗り、“オーフィス”を首領とした世界征服を目的とした団体だと主張しました。

それに対して“蛇革の腕輪”より黒い蛇が発生し、

「我は世界征服など指示していない。

そもそもお前たちはあくまでグレートレッドを倒すための戦力として集めたのであり、それ以外の指示なんて出してない。

我、学習した。

お前たち程度じゃ肉壁にもならない。
だからもう要らない、勝手にやってろ。」
と発言。

この発言はその場にいたSCP500-DD-1とその配下の全てに聞こえるほどの音量で行われたため、個体名「カテレア・レヴィアタン」が激怒。

私に向けて襲撃を試みましたが、個体名「アザゼル」の手により妨害、終了されました。

個体名「カテレア・レヴィアタン」が主導していたテロ行為はそれで終了しましたが、前述した個体名「ヴァーリ・ルシファー」と個体名「兵藤一誠」による戦闘は継続されていました。

この時明らかになったのですが、個体名「ヴァーリ・ルシファー」は「悪魔」のクウォーターです。

戦闘は個体名「兵藤一誠」の辛勝で決着、個体名「ヴァーリ・ルシファー」はSCP-500-DD-3、「中国神話」より「斉天大聖」の子孫、個体名「美猴」の手引きにより逃亡しました。

SCPに対して感情移入するのは危険とわかっているのですが、あまりにも個体名「ヴァーリ・ルシファー」が哀れでした。

個体名「ヴァーリ・ルシファー」は「白龍皇の翼」の能力、「半減」を空間に対して使用。

個体名「アザゼル」により女性の胸のサイズも半減すると助言を受けた個体名「兵藤一誠」が激怒……。いえ、激昂して個体名「ヴァーリ・ルシファー」を撃破しました。

会議状況と戦闘の映像記録を添付

#動画1

#動画2

追記

追加でSCP-978で撮影した結果。

1

被験者：個体名「サーゼクス・ルシファー」

撮影された行動：円卓に座っている。

撮影結果 : 個体名「リアス・グレモリー」、個体名「グレイフィア・ルキフグス」と名称不明の「悪魔」で団欒している。

2

被験者 : 個体名「セラフォル・レヴィアタン」

撮影された行動 : 円卓に座っている。

撮影結果 : 個体名「支取蒼那」と共に「魔法少女ミル?」を連想される服を着込み、正体不明の化け物と戦っている。著作権的に大丈夫か?

3

被験者 : 個体名「ミカエル」

撮影された行動 : 円卓に座っている。

撮影結果 : 正体不明の存在に対し涙を流しながら頭を垂れている。

4

被験者 : 個体名「アザゼル」

撮影された行動 : 円卓に座っている。

撮影結果 : 巨大ロボットの上に立ち、「削除済」な剣を掲げている。

SCP-963の影響下にある可能性があります。

5

被験者 : 個体名「カテレア・レヴィアタン」

撮影された行動 : 自らの目的を語っている。

撮影結果 : 築き上げた屍山血河の頂上で玉座に座っている。

近くに酷く??された個体名「セラフォル・レヴィアタン」の亡骸が転がっています。

6

被験者 : 個体名「兵藤一誠」

撮影された行動 : 会談前に旧校舎で待機している。

撮影結果 : 個体名「リアス・グレモリー」や「桐生藍華」、
「元浜??」など、普段個体名「兵藤一誠」の友人と共に学校生活を送っている。

個体名「兵藤一誠」の普段の言動から予想していた物とは違いましたが、コレも個体名「兵藤一誠」の一面なのでしょう。

写真は先日と同じように送付しました。

「オーフィス」は自分の部下だと思っていた人物に裏切られたか
らかは不明ですが、少し不機嫌でした。

本部より報告

「会談」への参加ご苦労。

やはりSCP-500-DD-D-2は露見してしまったか。

まあ想定範囲内だ、問題はない。

SCP-978による撮影結果から、「会談」に参加していたSCP-500-DD-1は人間に率先して被害を出そうとしていない
と考えられた。

しかし、その結果は人類にとって危険がないという証明にならない。
い。

監視任務は怠るなよ。

??年?月?日 会談後日

SCP—500—DD—1、分類名「悪魔」から個体名「サーゼクス・ルシファー」、個体名「グレイフィア・ルキフグス」、面識のない仮称「悪魔A」の3名と、分類名「墮天使」から個体名「アザゼル」、面識のない仮称「墮天使A」が私の拠点を訪問。

要件は

- ・「無限の龍神」と友誼を結んでいる人物を野放しにはできない。
- ・元とはいえ「禍の団」の首領だった「無限の龍神」を放置はできない。

という2点の理由から、私の家に「悪魔」と「墮天使」より1名ずつ監視を兼任した人材を置かせてほしいというものだった。

任務に差し障りが出る可能性が高かったため断ろうとしたが、「悪魔A」と「墮天使A」が私を説得してみせますと上司3名と別室で面談を行うことになった。

そして両名がSCP—963を30日以上装着していた、ジャック・ブライト博士であることを確認。

どうしてこんな^{???}野郎を派遣しやがった!

即座に拒否しようとしたが、SCP—500—DD—1にSCP財団が露見する可能性を減らすには最適な人物であるという理由より入居を許可しました。

両方女性体だから本当にタチが悪い。

これで我が家の男女比は実に1:3だぞ?

またご近所さんからの刺さるような視線を乗り越えないといけないのか……

私が要求を飲まなかった場合、

「この最低の不倫男!

何股かけてたのよ!

しかも娘ができたからって私を捨てるのねっ!」

と2名で協力して拠点の外まで響くほどに叫ぶと脅されたため、断

る事が出来ませんでした。たなどという事実はありません。全く、なんてことを報告しようとしているんだ。そんなことをされてしまったら、私に対する禁止リストがまた増えてしまうじゃないか。

追記

消照闇子ちゃんのワールドツアー日本支部の？席チケット2枚、当選しました。

“オーフィス”と共に見に行くつもりです。

ブライト博士が “オーフィス” にSCP—963を渡そうとしていました。

直前に気づけたから良かったのですが、心休まらないので早く回収しに来てください。

本部より報告

………は？

………は？

こっちはハズレだったよ、??野郎。

「??行もの暴言のためカット」

ふう、任務の話もしなければ。

最近SCP—963を付けているブライト博士を見ないなど思っていたら、そんなことをしていたのか。

コレは立派な収容違反です。

早急な収容のために、?月?日の?時に??の??に届けに来てください。

渡す際には??を詰めた??に梱包し、紙袋に入れておいてください。

わかっていると思いますが、直接触れてはいけませんよ？

それと、今回の件では偶然か故意かは不明ですが、結果的にはブライト博士の行動は財団にとって有益だったため、禁止リストには加わらない可能性があります。

コレは断じて私情ではなく………そう、合理的に考えた結果だ。ザマアなんて思っていないよ。

??年?月?日 ブライト博士、入学

すまない…… 私は無力だ……!

誠に、誠に不本意ながら…… ブライト博士の宿主である分類名「悪魔」、個体名「アリシア・カンビオン」と分類名「墮天使」、個体名「小鳥遊優香」が駒王学園に編入するという事態が発生してしまいました。

兩名ともに私の授業担当である、2年のクラスに編入しています。

個体名「アリシア・カンビオン」は個体名「兵藤一誠」と同じクラスでオカルト部に所属、個体名「小鳥遊優香」は個体名「匙元士郎」と同じクラスで生徒会に庶務補佐として所属しました。

これは個体名「支取蒼那」に対して「墮天使」が関係を持ったためだと思われる。

個体名「リアス・グレモリー」に対しては個体名「アザゼル」が顧問として関係を持っています。

そして先日、生徒会顧問であった「??」が辞職、私がつなぎとして生徒会顧問に就任することになりました。

「??」は??に住む男と結婚したため、??に引越すことになったと言っていました。SCP-500-DD-1による記憶影響・ミーム汚染が懸念されます。

何故なら彼女はつい先日まで、レズビアンであると自ら公言しており、それも高校生がベストという元女子校の教師としては問題しかない人物だったからです。

そして私は生徒会顧問として、「冥界」に赴くことになりました。…… 生きて帰れるか、そもそも情報を送ることが出来るかすら不明です。

予定では??日で戻る予定ですので、超過しても連絡がなかった場合は死亡したと判断してください。

最悪の場合…… 本当に最悪の場合は、そちらにいるブライト博士に聞けばわかると思います。

追記

姪という設定のエージェントに接触。

彼女は予定通りの住所に住み、??で働いている。

ところで1つ聞きたいんだが、ほぼ同じ年の姪ってどういうこと？

それなら従兄弟とかで良かったんじゃないの？

“オーフィス”はブライト博士の持ち込んだ “??スマ??ブラ??”、

“桃??鉄”、“???”、“エアライド”、“マリ?カー?”などのゲームを熱心に練習しています?。

SCP-963は指示通りの状態で無事輸送しました。

本部より報告

…… うわあ、ザマアなんて思ってたごめん。

人とはあまりに哀れな他人を見ると、憤慨を忘れるものなのだと初めて実感したと思うよ。

O-5の決議により、君の“冥界”での最優先事項は“生還”することとなった。

ただしSCPに関してだけは決して漏洩してはならない。

それは他のオブジェクトの收容違反…… 結果として終焉シナリオを引き起こす可能性が極めて高いと推測される。

なので君の任務は、“SCPの情報を一切漏洩せずに生還する”こととなる。

情報収集は後回しで構わない、幸運を祈る。

彼女からの強い希望がO-5-?により承認された。

文句を言おうと変更はない。

ここまで悪意のあるゲームの選択を見たのは初めてだ。

さすがブライト博士・常人にはできないことを平然とやってのけるッ！痺れも憧れもしないし、禁止リスト入りだがな！

??年?月?日 冥界の空はやはり紫
驚いたことに、〃冥界〃でも??社
のアンテナは全て建っ
てる。

この〃??社〃は一体どこまで手広くやっ
ているんだらうか……と
いうかSCPなのでは?

私は個体名〃支取蒼那〃とその〃眷属〃、
そしてブライト博士であ
る個体名〃小鳥遊優香〃、〃オー
フィス〃と共に〃次元の狭間〃を
通過し、〃冥界〃に到着した。

〃オーフィス〃は〃次元の狭間〃を
静寂な空間と言っていたが、
このように列車が通るのであれば
騒音が響くのではないだらうか?

そして静寂を乱した者……つまり、
SCP-500-DD-1はSCP-500-DD-1は
滅ぼされる可能性があったと言
える。

SCP-500-DD-1はSCP-500-DD-1
がいなければ絶滅していたの
ではないか?

個体名〃支取蒼那〃……〃冥界〃
では個体名〃ソーナ・シト
リー〃という名のようにだ。

より正確に言えば本名が〃ソー
ナ・シトリー〃であり、日本に
在住するにあたり、響きが近い
〃支取蒼那〃という偽名を使っ
ていたということになる。

それに従い、〃冥界〃で活動して
いる間は〃ソーナ・シトリー〃と
記載する。

個体名〃ソーナ・シトリー〃の
実家はとても巨大な城でした。

目測ですが高さ????mはあり、
幅と奥行きは???m程だと思
われます。

その周りには城下町が存在し、
多数のSCP-500-DD-1、
分類名〃悪魔〃が生息していま
した。

私とブライト博士、〃オーフィ
ス〃は城の一室を手配されました。

この部屋まで案内した使用人は、
私達に対してあまり出歩かないよ
うにと忠告。

やはり和平を結んだとしても、
分類名〃悪魔〃と分類名〃墮天使〃

の確執がすぐに埋まるわけもなく、そして人類を下等生物だと見下しているからだと思われず。

……ブライト博士と“オフィス”のみを残した場合のような化学反応が起こるかわからないため、調査は行いませんでした。失敬だな、君は。

少なくともジエラルド博士よりは、共に居て安全だと自負している。

追記

消照闇子ちゃんのライブには“オフィス”の力を借りてでも行きます。

チケツトは渡さんぞ。

本部より報告

ブライト博士エ……

それは任務違反になるのではないかな？

任務放棄を企んでいると0―5に報告されたくなければ、チケツトを譲るのです。

“オフィス”の力を借りてライブに参加することは、0―5―？より承認されました。

??年？月？日 彼と“オフィス”が不在なので私だ。

というわけで私だ、ブライト博士だ。

SCP財団の施設内だとどんな残機Dクラス職員の身体を使ってもブライト博士と呼ばれるため、“小鳥遊優香”、もしくは“アリシア・カンビオン”として呼ばれるのは新鮮だ。

つまり逆説的に考えて、私は今ジャック・ブライトではないのだから、ブライト博士の禁止リストを守る必要はないんじゃないかな？

彼風を書くなら…… 個体名“小鳥遊優香”である私は、個体名“アザゼル”の代理として個体名“ソーナ・シトリー”とその眷属に対し指導を行なっている。

“墮天使”の作り上げた“人工神器”を眷属数名に与え、その使用方法について説明するのが“墮天使”としての私の仕事だ。

こつちには好みに合致する子供が居ないから、気分が乗らない。だが、人工神器というのは面白い発明だ。

是非、いくつか確保してコンドラキ博士に届けるとしよう。

個体名「アリシア・カンビオン」としての私は、個体名「リアス・グレモリー」とその眷属に同行している。

ああ、この報告書を読んでいる君が気づいているかはわからないが、この身体は「サキュバス」と「インキュバス」の合いの子でね。伝承では醜く成長しない唐変木という風に書かれていたが、一般的に誰もが振り返るような美女であると言える身体だ。

つまりまあ、個体名「兵藤一誠」に恋愛感情を持っている眷属数名からは敵意のような物を受けている。

私の好みは？歳以下の少年少女だから、個体名「兵藤一誠」に靡くことは無いと思うのだがね。

逆に個体名「塔城小猫」と個体名「ギヤスパ・ヴラデイ」は、私の好みに素晴らしく合致しているね。

ああ、個体名「リアス・グレモリー」の眷属ではないが、個体名「ミリキヤス・グレモリー」も良いと思う。

ここでの私の仕事は特にならない。強いて言うならば、訓練の監督役として倒れた者を医務室に運ぶくらいだね。

今日はSCP—500—DD—1—1、個体名「塔城小猫」が倒れたため、仕事があったと言える。

彼女の身体は「削除済」。

ああ、ここまで爽快なのは久しぶりだと思うよ。

何故なら財団は私に対してあれもダメ、これもダメと禁止するばかり。

少しくらいは鬱憤を発散する機会を設けてくれたっていいんじゃないかな？

任務に影響を与える？

安心してほしい。

市販薬をいくつか使い、適切な記憶処理を施したから彼女に行為の

??年?月?日 立食パーティ後

前回のブライト博士による報告から暫く忙しかった。

ブライト博士の危険性に理解を示してくれた個体名“ソーナ・シトリ”に“オーフィス”を託し、“冥界”の調査。

“魔王”個体名“セラフォル・レヴィアタン”との対話。

若い“悪魔”の“魔王”と“貴族悪魔”への謁見の見物。

“魔王”の主催する立食パーティへの参加。

立食パーティ時に起きた、“禍の団”に所属するSCP-500-DD-1-1、個体名“黒歌”とSCP-500-DD-3、個体名“美猴”によるテロ行為への対処。

この時、ブライト博士が個体名“塔城小猫”に対して??したことを、個体名“塔城小猫”の姉である個体名“黒歌”は察知。

そして個体名“塔城小猫”との会話より、??したという記憶がないことを推察。

強烈な敵意を見せ、個体名“アリシア・カンビオン”を見つけ次第「削除済」してやると宣言しました。

ブライト博士は知らぬ存ぜぬといった挙動をし、挙げ句の果てに「?とられるやつが悪い。」としか取れない発言をしています。

ブライト博士に良心の呵責といったものは……なんでもありません、愚問でした。

テロリスト2名は“アーサー・ペンドラゴン”と名乗る、SCP-2207と類似した異常性を持つ“コールブランド”と呼称された剣を持つ人物の手引きにより撤退されました。

“コールブランド”は空間を斬り、移動することができるようでしたが、SCP-2207を使用した際に発生した文書に記載されていたからの介入は確認されませんでした。

彼は剣をもう一本所有しており、それを“支配の聖剣”と呼称していました。

能力の発動条件や強度は未確認です。

個体名「セラフオル・レヴィアタン」は「魔法少女レヴィアタン」と自称しています。

SCP-500-DDのオブジェクトには、SCP-014-JP-Jと同様の状態を引き起こすものが存在する可能性があります。

個体名「セラフオル・レヴィアタン」は非常に友好的でしたが常識の欠如が激しく、自称「魔法少女の正装」から頑なに着替えようとしませんでした。

そして妹である個体名「ソーナ・シトリ」を溺愛しており、個体名「ソーナ・シトリ」の目標とする「中級・下級・転生悪魔でも分け隔てなく学べる学校の創建」が「貴族悪魔」に嗤われた際には、泣きながら「貴族悪魔」に対して文句を喚き散らしました。

……「悪魔」の社会は強さこそが全てという風潮が強く、業績などではなく実力で王が選ばれた弊害と言えるかもしれません。

追記ブライト博士のコメント

彼はとことん私の邪魔をしてくれるよ。

財団から見れば彼は模範的なエージェントかもしれないが、私からしてみれば少しルールに厳しすぎると思うよ。

ちよつと好みの子が居たから、「削除済」しただけであそこまで怒るとは予想外だったね。

「オフィス」は彼か彼の息がかかった誰かが常に側で警戒しているから、近づく事すらできやしない。

彼に私を邪魔しないように、本部から指示を与えてはくれないかな？

本部より報告

ブライト博士の要求は0-5の満場一致で却下されました。

というか、どうして承認されると思ったんですか？

SCP-2207と同系統の能力を有する剣の存在をどこからか知ったコンドラキ博士が、長期の休暇を申請しましたが0-5-?により却下されました。

以降、コンドラキ博士には?名以上での監視が常に行われていま

す。

これ以上一部の博士をそちらに送らないよう努力はしている。

O-5も含め、我々は任務に従事する君の奮闘を期待している。

??年?月?日 胃薬が手放せなくなった日

SCP-500が欲しい、複製品で構わない。

SCP-500-DD-4、"北欧神話"より分類名"神"、個体名"オーデイン"と接触した。

個体名"オーデイン"は肉体は美人である個体名"小鳥遊優香"、個体名"アリシア・カンピオン"であるブライト博士両名にセクハラを行い、側付きである分類名"ヴァルキリー"、個体名"ロスヴァイセ"により止められました。

この時点で頭痛と胃痛が止まらなかったのですが、ブライト博士は更にやってくれやがりました。

個体名"オーデイン"のセクハラを接待のようなものという名目で受け入れ、2人きりになりたいと物陰に誘い、よりにもよってなんらかの薬を混入した飲料を飲ませようとしていました。

直前に気づいて何も混入されていない同名の飲料と入れ替えましたが、SCP-500-DD-1とSCP-500-DD-4の全面戦争を引き起こす可能性すらあった行動です。

死ぬかと思った。

流石の私でもそんなことはしないさ。

せいぜい??になる程度の薬しか混入してないしね。

本日は個体名"リアス・グレモリー"と個体名"ゾーナ・シトリー"による"レーティングゲーム"が行われました。

結果は個体名"リアス・グレモリー"の勝利でしたが、個体名"ゾーナ・シトリー"は見事な策略で個体名"リアス・グレモリー"を追い詰めていました。

個体名"ゾーナ・シトリー"は指揮官としてとても優秀だと思われます。

個体名"リアス・グレモリー"は辛勝とはいえ勝利しましたが、王

としては個体名“ソーナ・シトリー”の方が一枚も二枚も上手であると評価されると思われます。

追記

“オーフィス”への教育が小学生程度から中学生程度に変更しました。

学習に強い意欲を示しています。

特に保健体育に……

あのブライト博士！

“オーフィス”に何を吹き込みやがった！

何って…… ナニだが？

報告は以上です。

本部より報告

…… あー、はい。

せめて正しい知識を教えてあげてください。

決して子供を対象にしたり、媚薬やドラッグを使うのが普通だと思わせてはいけません。

間違いは正されるべきです。

良くやった、人類は君の手により救われた。

君のこれから先の奮闘を期待している。

具体的には、問題児の博士たちを押しさえ込めるようになってくれるとありがたいかな。

現在、コンドラキ博士に情報を渡した馬鹿を搜索している。

と言ってもすでに明らかになっているようなものだから、証拠探しに近いが。

あとSCP-500もしくは複製品の服用は却下されました。

理由は市販の胃薬でもどうにかなるということと、ブライト博士がいる場所に送るには危険という2つが挙げられました。

??年?月?日 青い、青い空が懐かしく感じた日

“冥界”より帰還しました。

ああ、素晴らしき哉、青い、白い雲。

全体的に毒々しい色合いだった“冥界”と比べ、なんて清々しいのか。

あ、データ通信量の都合上撮り溜めていた映像記録と観測データを添付します。

#「動画など」

今日より通常任務に戻り、SCP-500-DDに属するオブジェクトの監視を行います。

追記

“オフィス”は姪という設定のエージェントに預けました。

容姿だけとはいえ、男が幼女に保健体育の授業を行うのは事案です。

ブライト博士が行うのは論外です。

本部より報告

“冥界”での任務、お疲れ様です。

ブライト博士の禁止リストに、タナー法により18歳未満と判断された生物に近づいてはいけなと書き加えます。

18歳以上だと思っていたとしてもです。

??年?月?日 個体名“支取蒼那”からクツキーを貰った日

その日は朝から不運が続いていた。

パンを焼いていたトースターが、原因不明の爆発を起こした。

靴の紐が突然切れた。

動物のフンを5回も踏みかけた。

霊柩車が4台、目の前を横切った。

授業中使っていたチョークが縦に割れた。

座ろうとしたら、椅子の足が折れた。

あまりの不連続きに辟易としていたとき、個体名“支取蒼那”より日頃のお礼ということで、まるでクツキーのようなオブジェクトを頂きました。

私に確認出来た範囲ですが、見た目や匂い、触感、質量は一般的な手作りのクツキーと同一のものでした。

私はそれを持ち帰り、夕食後に食べるために取り出しました。

しかし私が食べるより早く、それはブライト博士2名と“オーフィス”が一つずつ食べてしまいました。

3人は一口食べると同時にのたうち始め、喉を抑えながら悶え苦しみ、ついには泡を吹き始めました。

私は3人の介抱を行なった後、このオブジェクトの異常性に気づきました。

あのブライト博士も含め、SCP-500-DD-D-2、“無限の龍神”である“オーフィス”にさえも致命的な損傷を与える食べ物に、異常性がないとは口が裂けても言えません。

介抱の際、無理矢理吐き出させたクツキーは床板がグズグズと音を立てて腐食を始めました。

そして腐食は私の家の全ての建材に伝染し、最終的に私の家は崩壊しました。

?枚確保して郵送しました。

私達は姪という設定のエージェントの住居に一時的に居候させてもらう事になりました。

……不幸だ！

追記オーフィスのメモ

我……死ぬかと思った。

走馬灯なんて見たのは初めて……

サマエルでもあんな威力は出せない。

……将来SCP?をもらうよりあのクツキーを食わせた方が、勝機が高いかもしれない。

ちよつとグレートレッドに食わせてくる。

ダメだった。

我みたいのにのたうち回って悶え苦しんでいたけど、自力で吐き戻した。

しかも次元の狭間のあの一带は汚染された。

我ですら長時間居たらどうなるかわからない。

本部より報告

…… 次の拠点を確認するまで、報告は後日纏めてで構わない。

郵送されたクッキー型のオブジェクトを？枚Dクラス職員に摂取させたところ、？名が終了、？名が精神崩壊、？が重度の後遺症を負いました。

生存し、尚且つ正しくコミュニケーションを行える被験者に感想を尋ねたところ、

「痛かった。」

「胃がズンガズンガしている。」

「川の向こうで俺が「削除済」した奴らが、高笑いをしていた。」

などという証言が得られました。

本部の設備を用いて詳しく解析したところ、未知の成分が少なくとも??種発見され、その全てが人体に極めて有害であるという結論となりました。

同量を摂取した被験者でも効果に差が出た理由は定かではありませんが、極めて人類に脅威的ではあるが未来永劫収容可能という観点からオブジェクトクラス： Safeとなりました。

現在、SCP—682とのクロステストが検討されています。

アイテム番号： SCP—???—J

オブジェクトクラス： SafeKeeper

特別収容プロトコル： SCP—???—Jはプラスチック製、木製、金

属製の3つの箱の中に格納したのち、周りを？m以上の厚さを持つ鉄筋コンクリートで覆われた出入り口以外の穴のない部屋に保管して下さい。

3日おきに?名のDクラス職員を用いて数の変動が無く、部屋に大気汚染が発生していないことを確認してください。

説明： SCP-???-JはSCP-500-DD-1、個体名“支取蒼那”の手により作成されたクッキーの形をした物体です。

一般的に市販されている手作りのクッキーと同様の外見、匂い、触感、質量を有しており、破壊しない場合は食べるまでその異常性の有無を見分けることは不可能です。

SCP-???-Jは複数の未知の成分が含まれており、実験によりそれらは全て人類を含む全ての生物に対し極度の毒性を有することが確認されています。

SCP-???-Jに含まれる未知の成分は人の体液と混じることにより、強力な腐食性を発生させます。

これはたった?gで建物一つを崩壊させるほどであり、この性質のため実験を行う際には??kmの広さの空き地に作られた、SCP-???-Jの実験専用の施設で行う必要があります。

SCP-???-Jを摂取した場合、第1の症状として被験者の消化器系に形容しがたい苦痛が発生します。

少なくとも私は胃がズンガズンガするという擬音語を理解できませんでした。

未知の成分はそれぞれ単独で摂取した場合、平均?mgの摂取の後?ミリ秒で心配停止、?秒後に脳死することが確認されています。

しかしSCP-???-Jをそのまま摂取した場合は複雑な化学反応により、生かさず殺さずの苦痛が発生します。

この段階では吐き戻すことで抑制できます。

第2の症状は消化器系のみ苦痛が全身に拡大します。

この時の苦痛をある被験者は「全身の細胞が破壊されていく気がした。」と供述しており、その被験者の体を詳しく調べた結果、いくつかの細胞が変質しているのが発覚、癌に似た悪性の腫瘍が複数確認されました。

この段階では胃洗浄により進行を抑えることができます。

第3の症状は被験者により変化します。

あるものは発狂して自殺。

あるものは全身に腫瘍が発生し、窒息死。

あるものは精神を崩壊させ、一切の反応を示さなくなりました。

第3の症状が発生した時点で、摂取した生物の死は確定するため、どうすることもできません。

その後第2の異常性として、死亡した摂取者の死体が強い毒性を持ち始めます。

この時より摂取者の死体はSCP-???—J-1となります。

この毒性は始め、SCP-???—Jと同質のものであることと思われるていきましたが、こちらは空気感染することが確認されています。

? 番実験の際、初めて発現したこの性質により???人の職員が犠牲となりました。

更に新たに確認された事実として、SCP-???—Jの毒性と違いSCP-???—J-1が所有する毒性は発生後、自己進化を繰り返します。

最初に確認されていた空気感染はこの性質により変化したものだと思われま

す。この時は最終的に「編集済」という毒性を持っていました。

この事案のあと、オブジェクトクラスはSafeからKeterに変更されました。

??年?月?日 賃貸契約

賃貸契約を結ぶまでの出来事を箇条書きする。

倒壊した我が家からまだ使えそうな物を回収、姪役の家に運んでいった。

SCP-500-DD-1、個体名「アザゼル」と個体名「バラキエル」、SCP-500-DD-4、個体名「オーデイン」、個体名「ロスヴァイセ」が訪問してきた。

倒壊した我が家を見て呆然としていた。

個体名「オーデイン」はSCP-500-DD-5、「日本神話・妖怪」と同盟を結ぶために来日、他は護衛。

姪役の住所を教え、引越した時は学校で報告すると伝達。

ブライト博士ズが個体名「塔城小猫」を連れ込もうとしていたのを阻止。

仮にも他人の家で「削除済」しようとするなんて、頭おかしいんじゃないのか？

ブライト博士ズが個体名「ギヤスパー・ヴラデイ」に手を出そうとしていたのを発見、阻止。

個体名「リアス・グレモリー」とその眷属が個体名「オーデイン」の護衛に任命、SCP-500-DD-4、分類名「神」、個体名「ロキ」と分類名「神獣」、個体名「フェンリル」による襲撃。

「禍の団」に所属する個体名「ヴァーリ・ルシファー」とその一行、?名との協力を承認。

再度の襲撃を撃退、個体名「兵藤一誠」が個体名「ロキ」を撃破。

その際、個体名「兵藤一誠」はSCP-500-DD-?、分類名「精霊」、個体名「乳の精霊」を名乗る存在が個体名「姫島朱乃」に宿っていたと主張。

何を言っているのかわからないと思うが、私も何が起きたのかわからなかった。

純粋な心を持つ人物しか使えないという異常性を発揮するアイテ

ム、「ミヨルニル」を個体名「兵藤一誠」に使えるようにしたらしい。

その後個体名「ロスヴァイセ」が個体名「オーデイン」に置いていかれ、個体名「リアス・グレモリー」の「戦車」として眷属となりました。

後は「禍の団」が頻繁に襲撃を仕掛けてくるようになったくらいです。

何故か私にも襲撃がある。

生存者は全員、ブライト博士ズの玩具モルモットにされてしまったが。

追記

我々が「冥界」から帰還した後、個体名「リアス・グレモリー」とその眷属が「禍の団」に大規模な襲撃を受けていたらしい。

十分な情報を得られなかったため、追記にのみ記載しておく。

「オーフィス」は先日のクッキーのようなオブジェクト以上の殺傷能力を持った料理の研究を始めましたが、レシピ通りに作るため普通に美味しいです。

本部より報告

ブライト博士ズ? : : : : : まあ、ブライト博士2名と書き続けるよりは楽だしな。

ちよつと何を言っているのかわからないな。

とりあえずSCP-500-DDに關係した異世界の存在は全て、SCP-500-DD-Aというアイテム番号を振り分けることになった。

先日のクッキー擬き : : : : : SCP-???-Jはオブジェクトクラス: K e t e r に変更された。

あれを食した人間を見つけた場合速やかに吐かせるか、SCP-???-J-1となる前に完全に消滅させる必要があります。

??年?月?日 修学旅行

修学旅行先は京都。

引率の教師の1人として同行することになった。

任務は個体名“リアス・グレモリー”と個体名“支取蒼那”、そしてその眷属並びにSCP-500-DDに属する存在の監視のため、“オーフィス”を理由に拒否しようとしたのだが押し通された。

私はこんなに押しに弱かっただろうか？

姪役に“オーフィス”を預けるか悩んだが、結局連れて行くことにした。

私がいけない間に新たなブライト博士が現れる可能性は十分に考えられる。

そうなった場合、私は若くして禿げ、胃に穴が空き、他にも頭痛や不眠症といったストレスによる症状で終了することになると思われる。流石の私もそこまで追い込むつもりはないんだよ？

君がDクラス職員か使えなさそうな新人職員でもない限りね。

“オーフィス”には蛇に化けてもらい、私の袖の中に隠している。行きの新幹線の中で、男子生徒に1人が突如男女問わず胸を揉み始めるという奇行が発生したが、道中ではそれ以外の問題は特になかった。

到着後、引率として問題行動を起こす生徒が居ないか見回っていたところ、SCP-500-DD-5、分類名“妖怪”、種族名“天狗”？名に襲撃を受けた。

動機は彼らの主人である種族名“妖狐”、個体名“八坂”が正体不明の敵に攫われたため、怪しい奴は片っ端から捉えていたと判明した。

実力を見込んで協力を要請されたが、修学旅行の引率の役目があると断った。

……のだが、個体名“アザゼル”の率いるオカルト研究部が別で協力に合意。

教師になったなら多少でも仕事をしろ。

真っ昼間から酒を飲んでるんじゃない。

渡月橋に差し掛かった時、別の勢力から襲撃を受ける。

“英雄派”と名乗る“禍の団”の派閥の勢力だった。

彼らは私が観測した限りでは、全員が人間であった。

代表は「曹操」と名乗る人物であり、早急な調査が必要である。

何故か聞き覚えがある気が……？

私も襲撃に巻き込まれたため応戦しようとする、再びいくつもの「神器」を使用する「青年A」に妨害を受けた。

今回は死者がいなかったため「幽世の聖杯」ではなく、「紫炎祭主の礫台」によるものと思われる能力を多用していました。

そして「ヴァーリチーム」を名乗る少女の介入により戦闘が終わるまで、彼は私の足止めに徹していました。

量子歩法による突破も試みましたが、いくつかの結界を張る「神器」の複合結界を全て突破することは困難でした。

「青年A」の目的は依然不明であり、眩き続ける内容も変わっていませんでした。

私がここに存在することがイレギュラーな事態なのだとしたら、彼はどうして戦闘時にしか介入してこないのだろうか？

謎は深まるばかりだ。

追記

本部宛にお土産を郵送しておいた。

是非、味わってくれ。

本部より報告

あれ？誰だこいつ？見覚えはあるんだが…… あ！

「曹操」は、君が「オーフィス」を現在の方法で収容して直ぐに訪ねてきた男だ、忘れたのか？

「青年A」の再びの介入を前回と合わせた結果、個体名「兵藤一誠」の関わる戦闘に介入しようとする、と現れるのではないか？という仮説が立てられた。

「青年A」がSCP財団による介入を問題視しているなら、君よりもブライト博士を先に処分しようとする、と考えられる。

そもそも教師である君を追い出しただけなら、適当に悪評をでっ

ち上げて流すだけでPTAが騒ぎ出すのが日本だ。
この仮説が正しいかは、君が判断してくれ。
八つ橋美味かった。

??年?月?日 修学旅行、無事?終了

報告の後日、再び襲撃を受けた。

“神器”、“絶霧”によるものだと思われる京都を模した結界空間に閉じ込められ、そしてバラバラに転移させられました。

“オーフィス”は

“青年A”は私が“英雄派”を殲滅と戦っていても、個体名“兵藤一誠”の戦闘に加勢しようとしなければ現れなかった。

この結果より“青年A”の行動原理に対する仮説は、正しいものだと思います。

そういえばそんな事がありましたね。

こちらには履歴を残していないため、確認したわけではありませんが確か監視下にあるのでは?

まあそれは置いておき、ブライト博士ズが個体名“八坂”の娘、個体名“九重”に手を出そうとするなど色々ありました。が、“英雄派”は目的を達成できないまま撤退し修学旅行は無事終了しました。

学園関係者を殺したりしてませんか?

戦闘映像、“絶霧”の影響を受ける前兆を撮影したものを添付します。

画像は個体名“九重”の写真です。

#動画

#画像

判定よろしくお願いします。

追記

“オーフィス”は明日から、駒王学園に1年生編入することとなりました。

ブライト博士ズの影響下にある個体名“塔城小猫”と別のクラスにするために、少しばかり職権乱用をしてみました。

この件でなんらかの罰則が発生した場合は、甘んじて受けるつもりです。

本部より報告

ブライト博士、アウトー。

君には職権濫用に関する罰則として、来期から給料を―3割減ということになった。

君の元の給料をAとおき、来期以降の給料をBとすると、

$A - (A \times (1 - 0.3)) = B$

ということになる。

更にセキュリティクリアランスを―1降格され、これから先の君のセキュリティクリアランスは4となる。

最後に、任務後2週間の有給謹慎とする。

これが君への処罰だ。

以後、注意するように。

??年?月?日 “オーフィス” 編入

寛大な処分、感謝します。

“オーフィス”とは別に、個体名“レイヴェル・フェニックス”が個体名“塔城小猫”と同じクラスに編入しました。

トランジスタージェラマーというのも良いね。

この国ではロリ巨乳と言うんだっただけかな?うわ、何をする!やめっ……

今日はブライト博士を事前にめることに成功しましたが、今後守りきれぬかわかりません。

ブライト博士を抑える方法を教えてください。

個体名“レイヴェル・フェニックス”は個体名“兵藤一誠”のマネージャーになろうとしているようです。

あの時施した記憶処理が解除されている様子も無いため、SCP―500―DD―1にも記憶処理薬は有効であると判断できると思います。

追記

“オーフィス”が個体名“支取蒼那”にお菓子作りの指南を要求

しました。

“オーフィス”は犠牲になったのだ

古くから続くメシマズの系譜……その犠牲にな。

ブライト博士、不吉なことを書かないでください。

会話様子を録音したため、後述します。

音声データ

支取蒼那：「えっと……もう一度言っていただけですか？」

オーフィス：「わー、私はおm、あなたにお菓子作りを教えて貰いたい。そう言った。」

真羅椿姫：「ちよ、本気ですかっ!？」

オーフィス：「私は本気。」

支取蒼那：「私で良ければ。オーフィスさんはどんなお菓子を作りたいんですか？」

オーフィス：「グレートレッドを殺せるお菓子。」

支取蒼那：「(非常に困惑した様子) え、えーっと……もう一度言ってもらえるかな？」

オーフィス：「グレートレッドを即死させられるお菓子。私、本見で作って見たけど普通のお菓子しかできなかつた。前貰ったクッキーみたいなのに、私が死にかけるくらいの強力な殺意に満ち溢れたお菓子の作り方を教えて欲しい。」

個体名 “支取蒼那” は呆然とした後、白目をむいて倒れました。

それはまるで、自分では上手と思っていたお菓子作りが、本当は下手だったと思い知らされた料理人のようでした。

泣きながら個体名 “支取蒼那” が作ったカップケーキは、1つを “オーフィス” に譲渡し、残りは回収し送りました。

“オーフィス” の作ったカップケーキは少し不恰好でしたが、美味しかったです。

本部より報告

記憶処理薬の効果が出ているのはありがたいな。

……なんて物が生みだされようとしているんだ!?

というか、個体名 “支取蒼那” が自分を上手だと思い込んでいた可

能性が高いということは、誰かがこれまでに作られてきたSCP―???

―Jを摂取し続けた者がいるということか？
何という胃の強靱さ…… 人類のために早急な発見が求められる。

もしくはSCP―??―Jをなんらかの手段により食べたふりを行なっていた場合、捨てられたオブジェクトが甚大な被害を起こす可能性が高い。

もしもSCP―??―Jが何者かにより摂取され、SCP―??―J―1が大量に発生する事態になったら、人類は間違いなく滅ぶ。

人類の存亡は今、君にかかっている。

頼んだぞ。

??年?月?日すまない、財団神拳は秘匿技術なんだ。

個体名「兵藤一誠」に格闘技の教授を懇願された。

私が主に使っている財団神拳…… SCP—710—JP—Jは財団のものであればDクラス職員でもなければ、誰でも努力次第で習得できる技術だが、仮にもオブジェクトクラス：K e t e rに教えて良い技術だとは思えない。

なので、私がこの国に来た後学んだ技術を教えることにした。

財団神拳は良くも悪くも、高度な科学に基づいた一撃必殺の技が多く、防御の技が少ないと前から少し考えていた。

そこで私が学んだのは、合気道と呼ばれる技術だ。

コレは相手の呼吸を読むことが本質なのだとは私は思っている。

相手の攻撃を事前に察知し、相手が動くより早く封殺する。

なるほど、理にかなっていると思う。

というわけで財団神拳と複合することを前提として習得、しかし財団神拳を一切使わずに私は個体名「兵藤一誠」を叩き潰した。

いや、正確には流し、狂わし、投げ、叩きつけた。

身体能力だけなら個体名「兵藤一誠」は、最早SCP—076—2に匹敵するかもしれない。

個体名「兵藤一誠」の攻撃は始め、人間である私を殺さない程度に抑えられていたが、今では機関銃のような速度且つ直撃すれば体に拳大の穴が開くほどの威力だ。

…… 訓練前に「ワンパ??」を読んでおいて正解だったな。

「流水??拳」はある程度の身体能力があれば、格上にも有効という点が素晴らしい。

しかし、個体名「兵藤一誠」がこの技を覚えてもあまり意味はない。

というわけで私の見様見真似「流水??拳」くらい、破ってみろという模擬戦式の訓練方法とした。

流星に魔力と遠距離攻撃は無しにして貰っている。

結局この日、私が攻撃をまともに受けることは無かった。

それでも両腕が血みどろになっているあたり、彼我の性能差が隔絶している証拠だ。

傷は個体名「アジア・アルジエント」の「聖母の微笑」にて、瞬く間に完治した。

相変わらず道理に喧嘩を売っているとしか思えない異常性だ。

この国では「無理を通せば道理が引つ込む。」という言葉があるが、私達は無理を潰して道理を守らなければならないのだ。

この前知ったことなのだが、「日本鬼子」という中国による日本への罵倒が存在する。

日本はその「リーベンゲイズ日本鬼子」という言葉を在ろう事か「ひのもとおにこ日本鬼子」というキヤラクターとして定着させたのだ。

これは日本全土を射程範囲にすることが可能な、強力な現実改変者によるミーム汚染ではないかと思っている。

緊急の対応を……あ、やっぱり無しで。

追記

日本の漫画は奇想天外な物が無数にある。

その中には様々な特異な技術を用いて作られた、様々な兵器が存在する。

ブライト博士はともかく、コンドラキ博士に見つかった場合、SCPを使って作りかねない。

最近、「オフィス」の手料理くらいしか癒しが無い。

本部より報告

……あー、残念な知らせと最悪な知らせとクソツタレな知らせ、どれから書こうか。

まあ順番に、先ず残念な知らせだ。

アルト・クレフ博士が消えた。

推測だが、君が書こうとしていた現実改変者の存在という話をどこからか聞きつけ、日本に向かったのだろう。

まあ、彼が君の拠点を訪ねることはまあないと思う。

次に最悪な知らせだ。

SCP—1048とSCP—1048—Dに新たに登録された個体がサイト—24から脱走した。

正確には、SCP—1048をSCP—1048—Dと共にサイト—24の出入り口付近で発見。

第一発見者である???助手は、速やかに警備員を呼んだ。

そしてSCP—1048—Dの手により「編集済」されたよ。

警備員が駆けつけた時には、全身が「編集済」だった。

???助手は自分が終了することがわかっていたんだろう、彼は警備員を呼ぶと同時に映像機器を起動し破壊されないように自分の側から離れた。

ああ、その映像記録から脱走したという最悪な事実とSCP—1048—Dの材料が判明したよ。

SCP—1048—Dの材料は銃だ。

コレまでのやつは、遠くに逃げることでできれば何とか助かる可能性があった。

しかし、コレはそういう次元の話じゃない。

映像記録には???助手が死ぬ瞬間も映っていた。

……現在の財団の科学力では、弾丸を確認することが出来なかった。

しかし???助手の死因は全身を銃弾が貫通して死んでいるという結論だ。

つまり、今の技術ではわからないほどのスピードを持った弾丸という可能性がある。

輪にかけて最悪な可能性は、SCP—1048—Dが銃口を向けるという事により、銃創が発生するというものだ。

回避不可、防御不可、対処不能の不可視の弾丸、魔弾の射手とでも名乗ればいいんじゃないか？

さて、最後にクソツタレな知らせだ。

SCP—1048が脱走すると同時に、世界中の支部でいくつもの収容違反が発生した。

それらは全てオブジェクトクラス：Euclid以上且つ人類に敵対的なものばかり。

財団でも総力を挙げて回収しているが、近日中に全てを回収しきるのは不可能だ。

……日本支部でも収容違反は発生している。

SCPがSCP-500-DDに発覚する可能性は最大限減らして欲しい。

発覚してしまった場合でも、出来るだけ情報を与えないようにして欲しい。

SCP-500-DDの本質とは、世界全てを書き換える能力を持つオブジェクトでもある。

コレを忘れるな、幸運を祈る。

18 (收容違反後)

??年?月?日 「編集済」

……は?

ちよつと待て、え? 收容違反?

SCP—1048はそもそも收容できていなかったとはいえ、え?

他のオブジェクトはどれだけ消えた!?

先ずオブジェクトクラス: Keterの個体だけでもいいから、なんらかの正確な報告が来るのを待っている。

それと緊急時、思わずオブジェクトを破壊してしまった場合、今度こそしっかりとした処罰をお願いします。

さて、SCP—500—DD—1の動向ですが、個体名“リアス・グレモリー”は個体名“サイラオーグ・バアル”とのレーティングゲームに備え、眷属と共に訓練をしています。

先日、個体名“兵藤一誠”が私に対して指導を望んだのも、コレが原因だったと思われます。

個体名“アザゼル”に個体名“サイラオーグ・バアル”の戦闘映像記録を閲覧させてもらいましたが、個体名“サイラオーグ・バアル”は一切の異常性を持たない極めて人間の格闘家に近い戦闘を行なっていました。

聞くところによると、生まれつき魔力を保有していなかったため、努力で強くなったのだとか。

生まれ持った才能がなくとも、努力でそれを覆すことが可能な……是非とも財団に所属してもらいたいタイプの人材だ。

ブライト博士ズがそれぞれ個体名“ギヤスパー・ブラディ”、個体名“レイヴェル・フェニックス”と談笑しているのを、ジツと隠れて見ている個体名“塔城小猫”が目撃されました。

まだ手は出してないと思いたい……

というか、個体名“レイヴェル・フェニックス”は個体名“兵藤一誠”のマネージャーだぞ、寝とるつもりか!?

私だってたまにはプラトニックに行くことだってあるさ。

SMではないが、縛りプレイという奴だね。

追記

“オーフィス”の料理が凄い勢いで上達している。

本人はグレートレッドを殺せる物を作るために始めたため、少し不満そうではある。

あれ？仮とは言え、17歳の少女に料理の支度をさせる親つて……

うん、気にしたらダメだ。

本人たつての希望だから仕方がないんだ。

本部より報告

これから先、何が起こるかわからない。

コレから読む前は必ず対ミーム予防措置を行うこと。

先ず收容違反についてだが、いくつかSafeのオブジェクトも脱走していることが判明した。ねこがいます。

曝露者も何名か脱走しているのも確認された。

緊急事態であるため、被害を抑えるためにやむをえず破壊することは許可する。

しかし、可能な限り收容することを考えていて欲しい。

曝露者は発見次第、ブライト博士と協力しながら適した記憶処理を行うか、最悪終了せよ。ねこです。

例えば君が今いる地域にオブジェクトが逃げ込んだ場合、我々は増援を送ることができない。

コレは君に対する上司からの嫌がらせなどではなく、そうせざるを得ない。ねこがいます。

そして本来はO5のみしかしれない情報だが、一部を君に伝えることを許可された。

SCP—500—DDの本質は現実改変だ。ねこです。

これ以上の情報を渡すことは、現実改変の対象になるため不可能で

す。

今判明しているK e t e rで収容違反なのは、

SCP—035

SCP—076

SCP—106

SCP—1048

SCP—910—JP

ですよろしくお願いします。

SCP—076はSCP—076—1ごと、SCP—910—JPも支柱の刺さっていたであろう穴だけ残して消えていた。

ねこですよろしくお願いします。

どちらも警備員はSCP—1048のレプリカによるものであろう損傷を負っていた。

よろしくお願いします。

ねこでした。

??年?月?日 お前、曝露してるぞ

気づいているかはわからないが、SCP—040—JPと思われる症状があるぞ?

今回の報告だが、個体名“リアス・グレモリー”と個体名“サイラオーグ・バアル”のレーティングゲームが行われ、個体名“リアス・グレモリー”が勝利しました。

今回のレーティングゲームは“ダイスフィギュア”と呼ばれる、戦闘の前に振ったダイスの目の数で使える駒を決めるというものでした。

駒は兵士が1、女王が9といった風に、それぞれ価値が設定されていますが、王はその本人の評価点によるものでした。

……ここまではこれまでの任務通りだったので、その後に問題が発生しました。

どうやって“冥界”に来たのかは判明していませんが、SCP—076—2……“アベル”が乱入しました。

そして個体名「サイラオーグ・バアル」及び個体名「兵藤一誠」に対して、傷が癒えた後自分と戦うように宣言をしたのち去っていきました。

つまり今回のレーティングゲームで個体名「サイラオーグ・バアル」と個体名「兵藤一誠」は「アベル」にとって、敵として認められてしまったのでしょうか。

更に「アベル」は観客席で観戦していた私に向けて、SCP-076-1の場所を伝えてきました。

経度???・??緯度???・??にある????の????、????に何者かの手で移動させられていたそうです。

早急な回収を願います。

そしてSCP-076-2について聞かれ、両親が「アベル」と呼ばれるアレを研究していたということにしました。

追記

駒王町にて連続殺人事件が多発しています。

死因は全て絞殺か首の骨を折られていたそうです。

付近の証言によると、ゴリゴリと何か硬い物を擦るような音が響いていたそうです。

……推測ですが、SCP-173がいる可能性が高いと思います。

元々目に映らない速度で動くオブジェクトでしたが、これほど正確に財団が手を出せない場所に来るものでしょうか？

本部より報告

対ミーム予防措置は済んだか？

すまない、記憶処理を行った。

まさかSCP-040-JPに曝露しているとは思いませんでした。

イエネコも暗闇もない環境だったからな。

幸運にも脱走した曝露者は既に終了されたし、情報媒体の処分も完

了した。

とりあえずSCP―040―JPの収容はこれで完了と見ていいと思う。

それよりもSCP―173らしき痕跡か……

あいつは海を渡ることが出来たのか？

見つけたなら、潮の香りがするか報告してくれ。

SCP―076―1は早急に回収する。

SCP―076―2はそちらで破壊してくれ。

君が必要と思つた範囲の情報は伝えても構わない。

経度???、緯度???に存在するとある洞窟。

そこには消えたはずの、3 m立方の黒い変成岩が安置されていた。それには20個の錠前で施錠されている扉が1つついていました。

「!!!」

いや、正確に言えばもう1人その場にいます。

簧巻きにされ、口を塞がれた男が近くに拘束されていました。

そのまましばらく、暴れていた人間が疲れ果てて動くのを辞めるほどの時間が過ぎていきました。

ガリガリガリガリ……

突然、閉じていたはずの扉が開き始めました。

中には、オリーブ色の肌をした2 m近い身長の間人間男性が入っていました。

全身に何かを象つていると思われるような刺青があり、腰まで届く髪は黒く、灰色の瞳は虚空を見つめていました。

なんと彼は生きています。

彼は少しずつ体を慣らすように動かしながら、ゆっくりと出てきました。

そして石から出た彼は先ず、拘束されていた人間を殺しました。

なんの工夫も感じられない、彼は自らの膂力のみで拘束されていた人の上半身を砕きました。

そこでようやく彼は目が覚めたかのように、2、3度頭を振って周りを見ました。

「……いつもの場所ではないな。財団は何をしている?」

今更ですが彼はSCP—076—02…… “アベル” と呼ばれるオブジェクトです。

そして彼がさっきまで入っていた3 m立方の黒い変成岩がSCP—076—1と呼ばれるオブジェクトであり、まあ簡単に説明すれば “アベル” のリスポン地点です。

ふと、彼は先程殺した人間の側に何冊かの本が置いてある事に気付

きました。

「コレは、剣の教本か？」

「『アベル』が拾い上げたのは、日本語で書かれた『五輪書』という本でした。

それは誰にでも読めるように、絵を多用した簡易版でした。

「なるほど……… どうか？」

彼は『五輪書』を元に、日本語をある程度理解しました。

そして、次の本に手を伸ばしました。

その本はほとんどがイラストで吹き出しの中に文字が書かれた……… いわゆる漫画でした。

彼は熱心にそれを読み解きました。

作中に出てきた技を試してみたり、使うための素材を集めたり。

そして彼は3日で、その場にあつた漫画を全て読み尽くしました。

「………？」

彼が覚えたばかりの技の試し切りを行おうと洞窟から出た時、ふと真後ろに亜空間から取り出した黒い剣を振り抜きました。

「なんでバレッツ！」

「なんだそれは？ まあいい、感覚は覚えた。」

後ろに居たのは、偶然彼を見つけた悪魔でした。

偶然彼を見つけた悪魔は、面白ければ眷属にしようと考えて透明化の魔法を使い、隠れて観察していたのです。

そして『アベル』は魔法の感覚……… 魔力の使い方を覚えました。

自分にも魔力が存在すると気づいた彼は、とりあえず使ってみることにしました。

剣に溜めて振るう、それだけで悪魔はチリも残さず消滅しました。

「……… しまった。技を試せば良かったな。」

まあ殺してしまったものは仕方ありません。

そう思っていると、自分が振った剣の軌跡と同様の空間の切れ目が出来ていることに気づきました。

彼は何となく入ってみました。

そこは次元の狭間、何もない世界です。

とりあえず彼は剣を振るうことにしました。

「なるほど、あの力を剣に込めて振るうところなるのか。」

彼の前には、再び空間の裂け目が発生しました。

彼は試し切りの相手を探して、踏み込みます。

そこはどこかの闘技場でした。

目の前には2人の人間ではない何かが膝をつき、疲弊しています。

その2人を見たとき、彼の体を歓喜が包みました。

「エージェント?が死んでから、もはや我が好敵手は奴くらいしかないと思っていたが……いやはや、コレは素晴らしい!ああ、我が名は『アベル』。突然だが、君たちに戦いを挑ませてもらう。しかし疲弊したところを襲うのは戦いではない。なので1週間後、また会いに来る。準備をしておけ。」

そして彼は観客席に自分を閉じ込めていた財団の人間を見つけました。

彼が財団の人間だと判断した原因は特にありません、勘です。

「お前らがSCP—076—1と呼ぶアレは????????な洞窟にある。

収容するならしておけ。」

そして彼は更に空間を切り、そこから立ち去りました。

そして道中、彼はとても素晴らしい剣を手に入れました。

それはバランスに優れ、鉄を豆腐のように切断できるほど鋭く、誰が持つても一流の剣士……いや、無敵の剣聖となるほど素晴らしい剣でした。

彼はその剣を持ち帰りました。

誰かに誇示したい気持ちがありました、1週間後の楽しみのために我慢することにしました。

??年?月?日 “アベル”襲来

あー…… 何から順に話すべきだろうか。

まあまずは結果から話そう。

個体名“兵藤一誠”と個体名“サイラオーグ・バアル” 両名の奮闘に結果、SCP-076-2を撃破した。

そしてSCP-076-2が何故か所有していたSCP-572を回収、個体名“兵藤一誠”が一時的に効果を受けるという事案があったが、弾き飛ばした後後頭部を強打して元に戻しておきました。

SCP-572は嚴重に梱包して郵送しました。

さて、結果の後は過程を説明すべきですね。

私は話しても良い範囲として、

- ・両親が“アベル”やその類似品を研究していたこと。
- ・そういった危険な生物、物品から人類を守るための研究であること。

・その中で“アベル”とは、好戦的であり社会病質者^{ソシオパス}、極めて戦闘能力の高い殺人機械のような男で、殺してもいずれ蘇るから容赦なく殺していること。

後は戦闘性能などを説明しました。

ところで聞きたいのですが、あの“アベル”が“飛天??流”とか“月?流剣術”とか使ってたんですが、読ませた馬鹿はどここのどいつですか?

おかげでSCP-572を使っているにも関わらず、何もかもを斬り裂きながら襲いかかってきたのですが。

いや、あの黒い剣じゃなかったただけマシなんでしょうけど……最終的に私も含めた3人がかりで、なんとか終了するほど苦戦しました。

“神器” “赤龍帝の籠手”の“禁手”である“赤龍帝の鎧”を耐久性に特化した形態に変化しても、まるで紙のように斬り裂かれ、個体名“サイラオーグ・バアル”が所有する“神器”、“獅子王の戦斧”

の“禁手”である“獅子王の剛皮”により強化された身体能力でさえ真正面から向かえばSCP―572で叩きつけられました。

峰打ちでもないのに。カタナで叩き潰すってどういうことだよ!?

私が盾として防御に徹して受け流していたときには、何故か投げられました。SCP―572で。

もしもコレが日本支部で常識的に使われているとしたら、私は日本支部では働けそうもありません。

“アベル”は消える直前、“またやろう。”という不吉な予言を残していきやがりました。

収容エリア25bで働く職員には、是非とも頑張つて欲しい。

追記

“オフィス”の作る今日の晩御飯はシチューでした。

美味しかったです。

今日はSCP―173によるものと思われる事件は発生しませんでした。

夜1人で出歩くと襲われるのではないか?という噂を流した甲斐があります。

本部より報告

対ミーム予防措置したか?

ええ……

SCP―2092を初めて閲覧した時と同じくらいの衝撃だよ。

SCP―076―1が発見されたとき、近くに日本のコミックが散らばっていた時から嫌な予感があったんだが、まさか剣術を使うとか思いもしなかったよ。

それもSCP―572を用いてだなんて私の今の感情を正確に伝えることが出来れば、あのトマトも飛ばないんじゃないか?

いや、マツハ2くらいで飛んで来るかな?

まあそれはいい。

SCP―076の収容はコレで完了したと思われる。

SCP—572の收容もだ。

危険性の高いオブジェクトから確認していたから、まさかSCP—572が持ち出されていたなんて思いもしなかったよ。

我々としても被害の確認と再收容に全力を尽くす。

??年?月?日 ふあつきゅー

“アベル”の收容違反早すぎないか?

まあ、なんとさえいいのか……

私の家に“アベル”が住むことになりました。

基本的に、個体名“兵藤一誠”のいつのまにか改築され続けた住居のトレーニングルームで訓練しています。

SCP—572を要求してきましたが、全力でぶん殴ったら元に戻りました。

その代わり私の拳が砕けましたが、個体名“アーシア・アルジェント”により修復されました。

それとついにSCP—173を目撃。

個体名“兵藤一誠”と共に行動していたので、“悪魔”に協力してもらいながら仮の收容エリアを作り收容しました。

幸運にも“はぐれ悪魔”を捕縛したため、SCP—173の危険性を伝えることに成功しました。

その過程でSCP—500—DDという“神話に関する異常生物”の他にも、異常な物は存在するということを伝えることになりました。

これは人類を守るために隠さなければならない情報であり、知っただけで影響を受ける存在すらある。

もしもSCP—500—DDや“禍の団”が知った場合、“英雄派”に属する“魔獣創造”の所有者に知られた場合は考えたくもないと伝えたところ、知らなかったことにしてもらいました。

その後個体名“アザゼル”と個体名“サーゼクス・ルシファー”、個体名“グレイフィア・ルキフグス”、個体名“ロスヴァイセ”の4名にはより詳しく……より残酷で現実的な説明をしました。

SCP—035、SCP—106、SCP—1048など現在収容違反を起こしている中から凶悪な物をピックアップして説明しました。

特にSCP—1048は見つけ次第、破壊するくらいの気持ちで構わないと説明しました。

ブライト博士ズがあるうことか自分から「自分も異常存在であると公表してくれやがりました。

追記

何故か私も「アベル」と模擬戦を行うことになりました。死にそうです。

「オーフィス」の作った晩御飯が美味しいです。

胃薬が手放せなくなりました

本部より報告

…… SCP—076—2は財団と交渉を行った。

その結果、O—5より承認を受けてそこにいる。

拒否すれば暴れ回った後、空間切つて脱出するぞ？なんて空間を切る实例を見せられながら言われたら屈するしかない。

収容違反させた挙句剣術を教えた奴は発覚し次第、Dクラス職員として捕獲された後「チョコレートによる死刑」にしてやる！

それにあたり、君にSCP—500の複製品が???錠贈られることになった。

きつとその胃痛も治してくれるだろう。

健闘を祈る。

??年?月?日 福利厚生の改善を要求する!

04:00 起床

04:30 駒王町に他にもSCPが侵入していないかの調査

05:00 “アベル”との戦闘

06:00 朝食のち出勤

— 教師としての業務

17:00 生徒会顧問としての業務

20:00 帰宅のち夕食

21:00 “アベル”との戦闘

22:00 駒王町に他にもSCPが侵入していないかの調査

23:00 “アベル”との戦闘

01:00 就寝

死にそうです。

財団職員としてSCPに殺される覚悟はしていたつもりでしたが、まさか仕事に忙殺されかけるとは思いもしませんでした。

今は本当に倒れそうになったとき、SCP—500の複製品を服用してなんとか持たせています。

姪役にも調査は手伝わってもらっていますが、今のところ他のKetterクラスのオブジェクトは確認できていません。

ブライト博士と共に、SCP—173の排泄物掃除もあります。Dクラス職員の気持ちを味わったよ。

何よりも、“アベル”との戦闘が毎度毎度命をすり減らしています。

私が出勤している間に、どこからか買ってきた漫画を読んで剣術のレパートリーが増えています。

財団神拳を最大限使わないようにしていますが、使わざるを得ないことが増えています。

この前なんか、飛ぶ斬撃とか使い始めました。

一撃でもまともに受けたらミンチになりかねないのに、当てる技術

が日々磨かれているのが本当に怖いです。

もう一度書きます、死にそうです。

ブライト博士ズは基本、煽るだけで仕事を手伝ってはくれません。あんた私より頭良いのに、なんでわざわざ暴露した後も学校通ってんだよ！

そりやあ君、私がこんな子供たちに囲まれた素晴らしい空間から出ると思うのかい？

追記「アベル」

赤いあいつはなかなか筋がいい。

勇気、強さどちらも敵手に成り得る逸材だ。

金色の鎧のやつもまあまあだ。

剣を挟み込んで止められたのは初めてだったな。

あいつはダメだ。

あいつはまだ何かを隠している。

お前らがあいつに何かをしないように指示しているなら、使わせろ。

殺すか殺さないかは、その後決める。

本部より報告

…… ちょっと上に掛け合ってみるよ。

いや、命がけの時点で充分ブラック企業だけでも。

流星に過労死は不味いよ。

ブライト博士、働け。

追加で???錠、SCP—500の複製品を送る。

出来立てホヤホヤというやつだ。

一応だが、他のオブジェクトクラス：K e t e rの收容は確認された。

SCP—910—JPが收容されていない時点で終わっているが、まあ置いておこう。

それに、いくつかのオブジェクトが発見、收容された。

このままのペースで收容し続けられれば、おおよそ?ヶ月で全て收容

しきれると思われる。

あと「アベル」に一言。

彼が自分の切り札を使わないのは、本当の意味で最後の最後まで追い込まれないと出さないように気をつけているからだ。

それに彼はどちらかといえば、戦士というより暗殺者に近いタイプだからね。

君のような真正面からぶつかってくる相手は苦手なんだよ。

??年?月?日 「魔王」の子、九死に一生を得る

SCP―956が突如、「冥界」で発見された。

個体名「ミリキヤス・グレモリー」を対象として活性化状態になっていましたが、個体名「サーゼクス・ルシファー」の手により破壊されました。

あらゆる傷を癒す異常性があるという「不死鳥の涙」というオブジェクトを使用しても個体名「ミリキヤス・グレモリー」の硬直が癒えず、私に対してどうにかできるSCPは存在しないか、と訪ねてきたため、可能性だけならSCP―500の複製品を?錠譲渡しました。

偶然口が開いた状態で硬直したこと、偶然今朝届いたばかりの複製品があったこと。

更に譲渡した?錠で30%で可能性を引き当てるという偶然が重なった結果、個体名「ミリキヤス・グレモリー」は行動不能状態から回復しました。

魔王夫妻に貸しを作って言うことを聞かせるだなんて、私よりも悪どいんじゃないか?君は。

わざとじゃない、偶然が続いただけだ。

しかしSCP―500のものではないためか、口から??個のSCP―956―1を吐き出しました。

とりあえずこれらがあれば、SCP―956を再收容できると思われるので郵送します。

今回、わかっている範囲ですが行動不能状態になったのは個体名

“ミリキヤス・グレモリー”の他に？人おり、そのうち？人は既に腹部が破裂していました。

SCP—956—1の異常性を説明し、郵送した物以外は全て焼却処分、もしくは個体名“サーゼクス・ルシファー”の手により消滅するように徹底しました。

あの消滅という異常性を財団のために使えるようにできれば、より収容が捗りそうだ。

問題はSCP—956がどうやって“冥界”に来て、城に侵入したかが完全に不明であることです。

メイド達の証言によると、目を離れた一瞬の間にSCP—956は出現し、個体名“ミリキヤス・グレモリー”に殴りかかろうとしていたようです。

その場で個体名“ミリキヤス・グレモリー”と会話していた個体名“サーゼクス・ルシファー”も、突然会話が止まったと思っただけになり人形が襲いかかってきた、と証言しています。

というわけで、休止状態では1人で動くことすら出来ないSCP—956がどういう手段を取ったかは不明なままです。

しかし、もしもSCP—956がこういつた瞬間移動のような異常性を新たに身につけていた場合、オブジェクトクラスをEuclidからKeterに引き上げることも検討すべきだと思われる。

追記

……最近“禍の団”の中に、強力なカリスマ性を持つ仮面を付けた人間が現れたという情報を得ました。

SCP—035の可能性が高いと思われます。

現在までにSCP—035と思われるオブジェクトが、私がいる場所に現れたことはありません。

本部より報告

SCP—173にSCP—076、SCP—956に加えてSCP—035までそちらにいるとは……

まあ、SCP—035に影響を受けるのは人類だけだ。

しかし社会性が人類に近いSCP—500—DD—1では、上手いこと扱われてしまうかもしれません。

SCP—076に回収させるのがベストでしょう。

今回のようなことが起きる可能性を考え、SCP—500—DDの複製品を??錠を隔日で贈ることにしました。

??年?月?日 “聖書”主催の運動会

文字通り、運動会でした。

私達は人間チームとして参加しました。

人間チームのメンバーは私、姪役、ブライト博士ズ、“オーフィス”、“アベル”の6名の他、何故か空間を割いて現れたコンドラキ博士とアルト・クレフ博士の2名を含めた8名でした。
呼んでおいたのさ!

姪役はフィールドエージェントといえども体を鍛えているわけではないので正直戦力外として、ほとんど暴走を始める6名を私が抑えるという状況でした。

障害物競走では、障害物として登場した元SCP—500—DD—D—5、現在SCP—500—DD—1—1である個体名“タンニン”やSCP—500—DD—6、“ギリシャ神話”、分類名“怪物”から個体名“ケルベロス”、個体名“ヒュドラ”などを全て「編集済」しようとする“アベル”を陰ながらルールに反しない程度に妨害。

玉入れ競争では、全自動発射装置を作り始めたコンドラキ博士から工具を取り上げ、他の陣営を全滅させれば優勝と言い始めた“アベル”に投擲。

二人三脚では、同一人物であるブライト博士ズが出れば良いものを、何故か私と“アベル”で出場させられ、引き摺られないようにギリギリでした。

騎馬戦では、ブライト博士ズとクレフ博士にコンドラキ博士が乗るという事故が発生してしまいました。

「編集済」人が「削除済」という被害を被りました。

私はあの光景を思い出したくもないですし、そして二度と見たくもありません。

最悪の中の幸運といった程度のものですが、もしもブライト博士が1人で、代わりにジエラルド博士が参加していなくて良かったと思

うとしまししょう。

他にも様々な尻拭いをし続け、遂に最終競技であるバトンリレーまで生き残りました。

そして「編集済」の結果、大乱闘に発展しました。

クレフ博士とコンドラキ博士は運動会終了後、来た時と同じように帰っていききました。

もう2度とこのメンバーでなんらかのイベントに参加したくないです。

姪役の追記

戦力外ってあんまりじゃないかな!?

いやまあ、「アベル」や博士達と比べたら歯牙にもかからない程度には雑魚ですけれども。

私だって、毎朝ジョギングをするくらいには鍛えてるんですが。

今日だって朝に? km走ったりしてますし。

そもそも財団神拳習得者や「アベル」担当だった彼が異常なのであって、普通のエージェントは装備を整えた上で命を擲って初めてSCPと互角に渡り合えるくらいです!

それでも戦闘能力が高い「アベル」みたいなものには蹂躪されていくんです!

というかなんで彼は「アベル」の攻撃を素手で捌けるんですか!?!
漫画で読んだは理由になりません!

本部より報告

忘れてた、対ミーム予防措置はしたか?

姪役の彼女にこう伝えてくれ。

「常識的に考えるな。」

常識的に考えて、SCPを常識的に考えるほど意味のないことはないのだと。

そういったことが少しでも彼女に伝わると良いんだが……

運動会お疲れさま。

コンドラキ博士達は「アベル」の発言を元に作られた、2点間の空間を切つて繋ぐ人工SCPオブジェクトを無断で使用していたことが発覚しました。

監視担当者は全員気絶しており、起こして事情を聞いたところ「クレフ博士に気絶させられた。」と証言しています。

今回、コンドラキ博士が作ったオブジェクトは空間に切れ目を入れましたが、SCP-2207の時のような文書は通達されませんでした。

ついで行った切断箇所に障害物を挟む実験では、切断されずどころか一方に弾き出されるという結果となったため、SCP-2207とは根本的に違うものだと判断されました。

??年?月?日 「編集済」の側に写真

SCP-096、収容。

側には裏返しになった写真とSCP-096に「編集済」されたばかりの死体がありました。

被害者は銀髪の男でどこか個体名「グレイファイア・ルキフグス」と似ているSCP-500-DD-1、仮名「悪魔A」個体名「ユーグリット・ルキフグス」でした。

とりあえず写真はその場で焼却しましたが、「悪魔A」個体名「ユーグリット・ルキフグス」はどこからSCP-096の顔が写った写真を入れたかは不明です。

SCP-076-1の側に漫画を残していったのと同じ人物による犯行でしょうか？

「悪魔A」個体名「ユーグリット・ルキフグス」が完全に「編集済」される前に写真を撮り、個体名「リアス・グレモリー」を通して確認したところ、個体名が判明しました。

個体名「ユーグリット・ルキフグス」は個体名「グレイファイア・ルキフグス」の弟で「編集済」年前の戦争でMIAとなり、戦争終了後も所在が不明だったため終了済だと思われていたそうです。

弔うために死体の譲渡を要求されましたが、SCP-096は自身

の顔を見たSCP―096―1の体を「編集済」するため、写真以外
は残っていないと説明して諦めて貰いました。

追記

姪役はひどく混乱しています。

財団神拳や「流水??拳」に対し懐疑的であり、これらは全て財団の
手で科学的に証明された技術と説明したのですが、信用しては貰えま
せんでした。

「オーフィス」の料理は日々進化しています。

とても美味しかったです。

ブライト博士ズ遂に、個人名「レイヴェル・フェニックス」を自室
に連れ込みました。

「編集済」した様子はなく、夕飯前には帰って行きました。

攻略完了まであと少し、と言ったところかな。

「アベル」の剣に対抗するため、剣術などの武具を用いた武術を習
得したいと思っています。

そちらで余っている物で構いませんので、支給されませんか？

本部より報告

対ミーム予防措置。

SCP―096までそちらに行ってしまったのか。

? 日後、財団内でDクラス職員に顔写真を見せることで再收容する
ことが決定している。

建物に被害が出ないよう、対策しておいてくれ。

「流水??拳」は君が任務中に独自で習得した技術だから不明だが、
財団神拳は確かに科学的に証明されている。

しかし彼女は仕組みを詳しく知らないのだろう。

希望された場合で構わないので、解説してあげなさい。
検討しよう。

ただし、「アベル」とまともに打ち合って傷が付かないほどの耐久
性のある物は確保できないため、期待はするな。

??年?月?日 SCP—035、発見

本日未明、SCP—035を装着した、以前よりも明らかに痩せこけている「曹操」と名乗っていた人物を筆頭に、「禍の団」と思われる人間、??名とSCP—500—DD—1、??名に襲撃を受けました。
「ジャンヌ・ダルク」、
「ヘラクレス」、
「ジークフリード」などを名乗る人間も確認されています。

彼らは全員「神器」を所有しており、終了せずに確保できたのは極少数でした。

SCP—035は高い学習能力が確認されているため財団神拳を使うわけにもいかず、凶悪な人心掌握能力も確認されているため「アベル」以外の人間と会わせるわけにもいかず、「アベル」が到着するまでひどく苦戦しました。

先日支給された長くて黒くて硬い杖がなければ、この報告書を書くことはできなかつたでしょう。

SCP—035は「アベル」の手により取り憑いた肉体が破壊され、人間ではない「アベル」の手で回収。

完全に特別收容プロトコル通りの部屋とはなりませんでしたが、厚さ15cmのガラスケースに入れて鋼、鉄、鉛の遮断材で覆い、5m四方の部屋の中心に置きました。

しかしSCP—035は置かれた状況によって影響範囲が変化するとされているため、早急な回収、收容プランの提示を願います。

それと並行して私の精神鑑定もお願いします。

念のためSCP—035の写真も添付します。

#画像

今のところ粘性液体による被害は大きな被害は出ていません。

個体名「リアス・グレモリー」
他が有する「消滅」の能力は、こういった場合にはとても有用です。

追記

元SCP—500—DD—4であったSCP—500—DD—1

—1、個体名「ロスヴァイセ」に付き合っている人はいますか？と問われました。

正直に居ないと答えたところ、「ヴァルキリー契約」という物の説明をされました。

かつて英雄と言われていた人達の魂を「ヴァルハラ」という場所に收容するのが、SCP—500—DD—4であった時の彼女の役目だったそうです。

その頃の名残で聞いてしまったと自らの墓穴を掘りながら説明を受けましたが、私よりも強い人はそれこそ無数にいるため、どつちにしろ私が選ばれることはないと言いました。

とりあえずお話だけでも、と言われ後日個体名「兵藤一誠」宅を訪れることになりました。

どつちにしろ今はSCP—500—DD—1—1なのだから、意味ないんじゃないか？

本部より報告

対ミーム予防措置。

とりあえず君たちの手で收容されたSCP—035は偽物である。

收容時に描かれたSCP—035は現在、喜劇の仮面になっている。

しかし添付された写真には、悲劇の仮面が写っている。

おそらくだが、「魔獣創造」の所有者にSCP—035をモデルに作った魔獣の一種なのではないかと思われる。

他にどのような機能が付けられているのかわからないため、早急な破壊を命じる。

考えたくはないが、SCP—035のレプリカが複数存在する場合もありえる。

見つけ次第、破壊せよ。

そしてSCP—035と「魔獣創造」の所有者が共にいるとすれば、SCP—682やSCP—096などをモデルにした魔獣が創ら

れかねない。

朽ちない肉体を得たSCP―035がどのような行動を取るか？

もちろん「神器」である以上、限界は存在するとは思いますが、危機的状況には変わりが無い。

早急な収容が求められる。

??年?月?日 けてる

個体名「リアス・グレモリー」から「消滅」の力を借りて偽物を破壊。

破壊途中に仮面が崩れ、全てが粘性液体に変化するという事態が発生しました。

「消滅」の力ではなく、火や圧力などで破壊していたならば、途中で粘性液体に変化して飛び散っていた可能性が高かったと思われる。

それと同時に、前日の「禍の団」の死体が全て灰となって崩れたという報告を受けました。

襲撃時のメンバーは全て、「魔獣創造」により作られた精巧な偽物であったのだと思われます。

「神器」の能力と神器所有者の両方を模した魔獣を創り出せるというのは、大きな脅威であると思われます。

財団を知らないSCP―500―DDとは違い、財団を詳しく知るSCP―035は標的をそちらに向ける可能性があります。

SCP―035本人を除けばまあどうにかできると思いますが、念のため重要な施設に警備を配置すべきと箴言します。

追記

個体名「ロスヴァイセ」は個体名「支取蒼那」の作り出す、SCP―???―Jと同種の料理を作ることが出来ると判明しました。

経口摂取でしか消費出来ないのにも関わらず、極度の毒性を持つというSCP―035の粘性液体よりも恐ろしいオブジェクトが鍋一杯にありました。

個体名「ロスヴァイセ」は自分の作り出したオブジェクトを「味

噌汁”だと主張しています。

しかし、“オーフィス”が味見しようと軽く啜っただけで、白目をむいて泡を吹き始める物を一般的に“味噌汁”とは言いません。

念のためにSCP—500の複製品は用意していましたが、明日以降生きて報告できるかはわかりません。

コレを書き終えたのち、私も食べなければなりません。

本部より報告

対ミーム。

……君の働きは財団にとって有益なものだった、冥福を祈る。

遺体はSCP—???—Jの特性上埋葬できないが、墓は発注しておく。

箴言は会議に承認を受け、実行されることになった。

再収容により減っていた人員の一部を呼び戻し、警備の強化にあてることになっている。

さらになんらかの破壊工作が行われていないかのチェックを行った結果、いくつかの収容施設に爆弾などが設置されているのが発見された。

推測だが、SCP—035の手によるものではないかと考えられている。

つと、今更書いても意味がないか。

冥福を祈る。

??年?月?日 “アベル” が死んだ! ↓このひとでなし!

偶然ですが生きています。

SCP-035のレプリカ、以後SCP-035-1を追加で?個回収。

全て個体名 “リアス・グレモリー” による消滅処理を行うまで、前述のように保管している。

SCP-035-1はSCP-035とは違い、目視しても2m圏内に入っても装着しようとする強い衝動は発生せず、人形に装着しても動き出しませんでした。

この事から、SCP-035-1を装着している人物は1度SCP-035を装着して脳波を変えた後、SCP-035-1を装着した可能性。

もしくはSCP-035-1をセットにして産み出された人型の魔獣である可能性の2種類が考えられます。

SCP-035と思われる存在は確認されておりません。

それと “冥界” で原因不明の病が広がっているそうです。

まず呼吸困難を発症し、徐々に身体が弱っていきます。

この過程で他の病を併発して終了する場合がありますが、他の病にかかることなく最後までこの病が進行した場合、全身が麻痺してまるで石像のように硬直し、苦痛の中で死ぬことすらままならない生き地獄を味わうそうです。

現在有効な手立ては見つかっておらず、SCP-500の複製品で一時的に症状は回復しますが、しばらくすると再発するという奇妙な現象が起きています。

追記

先日の “ロスヴァイセの作った味噌汁” は、横から手を伸ばした “アベル” が飲み干したため、私は無事でした。

ですが “アベル” は飲み干すと同時に悶え苦しみ、血反吐を撒き散らしながら消滅しました。

SCP—500—DD—1、SCP—500—DD—1—1の女性に料理を作らせることは、余りにも危険なオブジェクトを作り出す危険性があるため、禁止すべきかもしれませぬ。

本部より報告

対ミーム。

劣化した複製品とはいえ、SCP—500で完治どころか改善すらしない病か。

なんらかの感染力の非常に強いウイルスのようなものが大気中に存在し、治療と同時に再び感染しているのではないか？という仮説が立てられた。

しかし、病気以外の傷や不具合さえ治すのがSCP—500であり、罹りやすい体質というのも改善されるはずでは？という異論がある。

今のところ“冥界”でしか患者が出ていないが、今後この病が人類に蔓延するなどということがあつてはならない。

私人の考えだが、これもSCP—035による何らかの攻撃であると思つている。

治療法と感染源の発見が急務である。

“アベル”の復活と移動を確認。

最近の復活早すぎないか？

SCP—???—Jは“アベル”さえ即死、つまり状況次第ではあるが

SCP—682に試す価値があるかもしれない。

絶対に吐き戻されない状況を作り出す必要がある。

??年?月?日 極小の魔獣

SCP—500—DD—1—1から自薦した感染者を解剖した結果、身体の中に銀色の魔獣が無数に潜んでいることが発見された。

顕微鏡で確認したところ風に乗って飛行することが可能であったため、空気感染していたのだと思われませぬ。

1匹1匹では何の力も持ち得ない存在ですが、複数集まることにより神経系に影響を与えることによりこの病、仮名“ゾナハ病”を起こしていたようです。

#複数の画像

撮影した感染者のデータや病原体となっていた魔獣の画像を添付しました。

別の情報ですが、“冥界”にある“悪魔の駒”の素材の生産地であった“アグレアス”という浮島が、“禍の団”により占拠されたそうです、

現状、こちらではそれ以上の情報はありません。

追記

“アベル”が味噌汁が食事に並ぶのたびに警戒しながら少しずつ口を含むようになりました。

復活するにしても、それだけ苦しかったのでしょうか？

本部より報告

ミーム予防。

SCP—682のような危険かつ不死身の魔獣を創ることに対しての警戒を強くしていたが、そういった極小で単体では弱いウイルスのような魔獣を大量生産されるとは。

ウイルス型のオブジェクトも一定数存在するため、類似した魔獣が創られた場合の対策案を考えることになった。

もちろん、君がSCP—035を収容することが出来れば最善だ。対策案の1つとして、極小の機械により極小の魔獣……仮名“アポリオン”を駆除するという物がある。

完成したら送るため、使用してみてほしい。

“アベル”が恐れるオブジェクトとは……

もしかすると、SCP—???—Jにはもっと恐ろしい何かが隠されているのかもしれないな。

??年?月?日 銀の雲に「冥界」が沈んだ日

「アグレアス」が「禍の団」に占拠された後、恒常的に「アポリオン」が散布され続けられました。

初めは「アグレアス」周辺を結界で覆うことにより大規模な感染を防いでいましたが、結界を張っていたSCP-500-DD-1を狙いすまして「ゾナハ病」が蔓延したため破綻。

今では主要な都市を除いた「冥界」全土が「アポリオン」に沈みました。

現在、全身を「消滅」の魔力に変換可能な個体名「サーゼクス・ルシファー」のような、感染確率が低いと思われる者を用いて駆除を行なっているようですが、芳しくはないようです。

しかし、SCP-035はどうして財団に直接送り込まないのでしょうか？

SCP-682のような不死身の肉体が欲しいならば、財団を直接攻めた方が確実に効率的なはず。

もしかしたら、既に不死身に近い肉体を手に入れてしまったのでしょうか？

それとも財団に対して直接、手を出せない理由があるのでしょうか？

しかし私の任務は依然、SCP-500-DD-1の監視と收容違反中のSCPの收容だけです。

SCP-035は何をしても收容しますが、その過程でSCP-500-DD-1がどれだけ終了しようと無関係です。

最低限、番いが1セット残っていれば良いだけですしね。

追記

「アベル」の攻撃を??回受けた結果、棒が折れました。

予備を含めて?本ほど送ってください。

本部より報告

対ミーム以下略

“冥界”がほぼ壊滅状態か。

“アポリオン”が未だに財団を襲撃していない理由は現在3種類予想されている。

先ず1つ目、下手に扱おうと自らも巻き込まれるオブジェクトを収容させ続けるため。

SCP—871のようなオブジェクトが例として挙げられる。

2つ目は、財団を襲撃することによりなんらかの不利益を被るため。

収容中に目的としていた、不死身の肉体になりうるオブジェクトが“ゾナハ病”に感染した場合が例として挙げられる。

3つ目は、魔獣の生態的に“冥界”でしか活動できないため。

淡水魚は海水では死滅するような理由があるのではないかという考えから発案されましたが、あまりに楽観的すぎると思われる。

確かに番いが残っていれば収容は可能だが、我々の理念は確保、収容、保護であり、不要な犠牲を生み出すことは認められない。

努力を怠り無用な被害を出すことも、無駄な実験を行い犠牲者を出すことも罰則の対象になりうる。

君の奮闘を期待する。

棒は？本送った。

そのうち、戦闘データから考えられた改良プランを行った物が？本存在する。

感想と更なる改良点をレポートして送ってくれ。

??年?月?日 SCP—035ご本人、登場

本日、オリジナルのSCP—035より宣戦布告をされました。

SCP—500—DDに関する一部の発言は、偶然起きた爆発事故による騒音で聞き取ることが出来ませんでした。

常に装着している小型カメラによる映像も、何故か映っていないという不具合を起こしたためありません。

メンテナンスは先日行ったため、一切の不備はなかったと思われます。

SCP—035はやはり、自分が取り憑いても朽ち果てない肉体を求めています。

そして人間のように生き、最後には死ぬという結果を求めていると語っていました。

同じように器物に人格が宿り、対象を乗っ取る不死性を持ったオブジェクトとして、ブライト博士には同意が得られるのでは？とも発言していましたが、ブライト博士はその過程で財団に被害を出すつもりはないと敵対的な姿勢を見せました。

“アベル”がとりあえず殺そうと襲いかかったのですが、SCP—035の右手から噴出した粘性液体をまともに被り、粘性液体になってしまいました。

その時視認出来た範囲ですが、SCP—035は自らが発生させている腐食性と変性性を持った粘性液体を貯蓄し、一気に放出するための魔獣を創ったのだと思われます。

その時、側にいたSCP—500—DD—1—1の？名が身体の末端部に粘性液体を浴び、切除しました。

その時私がつっていたのは改良版の機能が追加されていた棒だったのですが、私が振り下ろすよりも早くバラバラに分解されてしまいました。

そのためレポートを送る事は出来ません。

次は純粹に強い素材を使用した物でお願いします。

追記

SCP—035の粘性液体とSCP—???—Jを接触させたらどうなるかという実験を行いました。

結果、轟音とともに対消滅しました。

仕組みはわかりませんが、研究の価値はあると思います。

本部より報告

予防。

どうしてSCP―035が三解のフェイスレスになってるんですかねえ……

色々言いたい事はあるが、まあいいや。

やはりSCP―035は不死身の肉体を求めているのか。

SCP―035が人として生きて死ぬ事を目的としていたとしても、我々は再収容を行うのが責務である。

真偽も不明、SCP―035の語る人としての生き方が我々と同じとは限らず、その過程で人類に多大な影響が及ぶ事は想像に難くない。

コンドラキ博士監修の新作を送付した。

無許可のクロステストにより、とりあえず減俸1ヶ月は確定した。

KeterとKeterを接触させるとか頭おかしんじゃないのか？

??年?月?日 先日追加報告を添えて

SCP-035は「彼が卒業する年月が経過するまでこの街を守り抜き、ついでに僕を再収容できたならば今回は諦めて手を引く。」とれる発言していました。

この彼に該当する人物は不明ですが、最長では小学1年生の場合で6年以内、最短では半年ほどであると思われます。ついでハードルが一番高い気がする。

コンドラキ博士の作った武器?

それは安全性が確認されているのか?

振ると爆発したり、指数関数的に威力が増すような機能は付いていないか?

使っただけでコンドラキ博士に都合の良いオブジェクトの収容違反が発生したりしないか?

Dクラスで確認してから送ってほしい。

フリじゃないからな?

押すな押すなは押せとかそういうのではなく、財団の危機だからな?

本日襲撃はなかった。

冥界では「アポリオン」が合体、巨大な姿に変貌すると報告された。

追記

先日SCP-035の粘液により手足を切除せざる得なかったSCP-500-DD-1-1、?名に貴重な「フェニックスの涙」を消費し、完治しました。

怪我の治療という能力に限っては、経口摂取以外でも可能で即座に回復するという点からSCP-500よりも便利かもしれません。

本部より報告

対 . : * . ゆゆ やったね 予防。

・：*・。・：*・。ゆゆゆ おなかすいた

あー、残念なお知らせだ。

コンドラキ博士が実験を行う前の新作を、無断で郵送してしまった。

悪いようにはならないと言っているが、正直信用はない。

一応設計図に従い、コンドラキ博士に??名の監視下で再度作らせた
が、危険な異常性は確認されなかった。

・：*・。・：*・。・：*・。ゆゆゆゆ すすめー

…… 財団と人類、所持者に対する危険性はなかった。

おそらく君がコレを読んでいる時には、すでに君はソレに触れてしまっているのだろう。

幸運を祈る。

ゆゆゆゆ

・：*・。・：*・。・：*・。ゆゆゆゆゆゆゆ あつまるれんしゅう

ゆゆゆゆ

??年?月?日 先日の文書は黒く塗り潰して焚書。

あー、最悪な報告とクソツタレな報告がある。

SCP—910—JPを発見した。

…… コンドラキ博士が製作した棒が、SCP—910—JP
だった。

財団職員の私に持つと同時に変形を開始、
“アベル”、“アイリス”を複製。

それだけなら最悪の中ではマシだったのですが、追加でSCP—403やSCP—004—JPなど、safeクラスのオブジェクトがいくつか発生しました。

…… 試しに「100m先、落石。」と指示したところ、指示通りに現象が発生しました。

コンドラキ博士絶許。

相変わらず問いかけに答える気はないようでした。

それと、SCP-910-JP-1のSCP-500は通常の複製品と同程度の効果しか発揮しませんでした。

本日はSCP-035の配下だと思われる生物の襲撃がありました。

“魔力”や“光力”、“神器”を多用していたため、SCP-500-DD-1-1を参考にした魔獣だと思われます。

見た目は巨大な魚のようであり、下半身は退化していたようでした。

眼窩が大きく隆起した、半人半魚の部下を視界が埋まるほど引き連れていました。

なんらかの精神攻撃能力を所有していたのか、SCP-500-DD-1、个体名“リアス・グレモリー”、SCP-500-DD-1-1、?名、“アイリス”がダイスロール抵抗に失敗、一時的に狂乱状態となったため、落石と津波、高電圧もしくは紐で縛って拘束しました。

“アベル”はいつも通り虐殺、ブライト博士ズと姪役は拘束と補助、私はSCP-910-JPの試運転を兼ねて巨大な個体と戦闘を行いました。

対象は魚類のような特徴を保有していたため、可燃性、爆発性、毒性、高電圧、落石を主に使用しました。

私の権限で閲覧できる範囲以上の“シンボル”が使用可能であるようです。

追記

今日の食卓は魚料理が多かったです。

食後“オーフィス”に確認したところ、上記の魔獣の肉でした。魚類の特徴を持っていたのにもかかわらず、穀物の味がしました。トウモロコシ風味。

塩焼きがベスト？

毒性は確認されませんでした。

本部より報告
対ミーム予防。

あの??野郎はどこに行きやがった!

財団全職員に告ぐ、コンドラキ博士を縛り上げて連れてこい!

うん、ご愁傷様?

とりあえず、SCP-910-JPはSCP-682同様、早急な破壊が望まれてはいるが、財団に協力している間はまあ、良い。

コンドラキ博士が消息を絶った。

現在、総力を持って捜索しているが、発見できる可能性は低いと思われる。

インスマウスの影って本を知ってるか?